

添付資料－ 3 大飯発電所 第 3 号機 第 1 7 保全サイクル 保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「大飯発電所 第3号機 第17保全サイクル 保全計画」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

大 飯 発 電 所  
第 3 号 機  
第 1 7 保 全 サ イ ク ル  
保 全 計 画

## 目 次

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間・・・1
2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・2
4. 特別な保全計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
5. 保全に関する実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

別紙：点検計画（第17保全サイクル）

別図：施設定期検査時の安全管理の計画

参考資料－1：計画期間中における点検の実施状況等

参考資料－2：保全に関する実施体制

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第17回施設定期検査開始日から第18回施設定期検査開始日の前日までの期間（第17回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間(※)）とし、以降、この期間を第17保全サイクルという。

ただし、この期間内に第18回施設定期検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第17回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

施設定期検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保守業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・ 保全活動管理指標の監視結果
- ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・ トラブルなど運転経験
- ・ 定期安全レビュー結果
- ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・ リスク情報、科学的知見

(2) 補修、取替え及び改造計画

a. 計装用電源装置改造工事：工事計画認可申請

○ 工事概要

計装用電源については、装置を構成する主要部品が製造中止となっており、設備の機能維持の観点から、保守性の向上を考慮し取り替える。

○ 予定時期

第17回施設定期検査期間中

b. 高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

: 工事計画認可申請

○ 工事概要

その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備において、高エネルギーのアーク放電による電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置を講じる。

また、その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備において、大飯発電所に接続する500kV送電線の系統構成が一部変更となることから、要求事項に対する適合性を示す。

○ 予定時期

非常用電源設備：第17回施設定期検査期間中

常用電源設備：西暦2019年6月～西暦2020年1月

3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

施設定期検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

4. 特別な保全計画

なし

5. 保全に関する実施体制

第17保全サイクルにおける保全については、大飯発電所原子炉施設保安規定第4条（保安に関する組織）、第5条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第17保全サイクルの保全の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮の上、第125条（保守管理計画）に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理通達（平成27調原通達 第1号）」の規定に従い調達する。

なお、第17保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・ 原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・ 発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・ 蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・ タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・ 1次系大型モータ他定期点検工事
- ・ 計装用電源装置改造工事
- ・ 高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

別紙

点 検 計 画  
(第 1 7 保全サイクル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

### (1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

### (2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

・ 定期事業者検査に係る点検

・ 施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

・ 施設定期検査対象機器に係る点検のうち、定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>\*1</sup>の点検等）について

は、「大飯発電所 保守業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した

「保全指針」及び「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」



に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス〕  
〔レジューサ、フローグラス 等〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」<sup>※2</sup>と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」<sup>※2</sup>により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該

点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。

- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

#### (6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“施設定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、施設定検停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（施設定期検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

#### (7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第17保全サイクル中に点検を計画するものについては、参考資料1「点検計画」に「○」※3を記載している。

また、参考資料1「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※4も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/51
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/51
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/51
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	20/51
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/51
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	27/51
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
[生体遮蔽装置]	
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	35/51
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	41/51
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	41/51
[その他設備]	
蒸気タービン	42/51
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	47/51
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
[補機駆動用燃料設備]	
[非常用取水設備]	
土木建築設備	51/51
プラント総合	51/51
全般機器	51/51

・点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉本体 【炉心】	照射済燃料集合体	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集合体 (取出燃料) 燃料集合体	※ 1式 193体	1. 外観点検 1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
原子炉本体 【原子炉容器】	内挿物 ・ 制御棒クラスタ ・ ハーナブルポイズン ・ シンブルプラグアセンブリ ・ 2次中性子源 原子炉本体のうち炉心	※ 1式	1. 外観点検	高	1F	燃料集合体炉内配置検査	※：炉心設計による
			1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	1F	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	施設検起動後
原子炉本体 【原子炉容器】 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	原子炉容器 原子炉容器 (制御棒クラスタ案内管支持ピンおよび水位計支持管用支持ピン) 燃料移送装置	116箇所 1台	1. 開放点検	高	13M		
			1. 外観点検	高	3F	構造健全性検査	
			1. 機能・性能試験 (リフティング・フレーム)	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			3. 簡易点検 (潤滑油給油)	高	26M		
			1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
			3. 簡易点検 (潤滑油給油)	高	26M		
			1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
			3. 簡易点検 (潤滑油給油)	高	26M		
			新燃料エレベータ	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	1F
補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験 (潤滑油給油)	高	1F	燃料取扱設備検査	先行実施	
		2. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入れ)	高	1Y	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	年次点検 フラント運転中又は施設設定 検停止中	
新燃料取扱工具 使用済燃料取扱工具	1台 1台	1. 外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	燃料仮置ラック	1. 外観点検 1. 分解点検也	高	1F 13M~130M	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】 その他機器	1. 特異試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット温度	1. 特異試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット水位	1. 特異試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
	可搬式使用済燃料ピット温度 (AM用)	1. 特異試験	高	13M	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1. 特異試験	高	13M	プラント状態監視設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設定検時に設置
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
	A 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	91M 78M 26M		(振動診断：6M) 先行実施
B 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	91M 78M 26M		(振動診断：6M) 先行実施	
送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 16回施設定検時に設置
大容量ポンプ (放水砲用)	3台	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1Y	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 16回施設定検時に設置
A 使用済燃料ピットフィルタ		2. 分解点検		10Y		先行実施
B 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M		先行実施
A 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	195M 195M 195M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施 有効性評価 No. 1 の反映
B 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	195M 195M 195M	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査	先行実施 有効性評価 No. 1 の反映
C 使用済燃料ピット冷却器		1. 開放点検 2. 漏えい試験	高	130M 130M		先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	I式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査	一部先行実施	
		2. 分解点検		10M～130M			
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 A 燃料取替用水ポンプ・電動機	I式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高・低	78M			
		1. 機能・性能試験		高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2. 分解点検 (ポンプ)			130M		
		3. 分解点検 (電動機)			52M		
4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))	26M						
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 B 燃料取替用水ポンプ・電動機	I式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M			
		3. 分解点検 (電動機)		52M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	I式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査	一部先行実施	
		2. 分解点検		130M			
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器	I式 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	130M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査		
		1次側	高	13M	1次系熱交換器検査		
		2次側	高	13M			
		2. 簡易点検 (スラッジランシング)		13M			
	B 蒸気発生器	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
		伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
		2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
	C 蒸気発生器	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M		
		伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査	
		2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M		
D 蒸気発生器	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M			
	伝熱管 3,382本	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	1次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査		
	2次側	1. 開放点検 2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M			
加圧器 加圧器安全弁	マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M			
	3個	1. 開放点検	高	13M			
	3W-RC-055	1. 機能・性能試験	高	1F	加圧器安全弁機能検査		
	3W-RC-056	2. 漏えい試験	高	B	加圧器安全弁漏えい検査		
	3W-RC-057	3. 分解点検	高	13M	加圧器安全弁分解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備・診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器逃がし弁	3PCV-452A 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	加圧器逃がし弁機能検査		
				1F	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				26M	加圧器逃がし弁分解検査		
	加圧器逃がし弁駆動部		高	26M			
				13M			
				1F	加圧器逃がし弁機能検査		
	加圧器逃がし弁	3PCV-452B 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	1F	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				1F	加圧器逃がし弁漏えい検査		
				26M	加圧器逃がし弁分解検査		
	加圧器逃がし弁駆動部		高	26M			
				26M			
				13M			
	加圧器逃がし弁前弁	2個 3V-RC-054A 3V-RC-054B	高	1F	加圧器逃がし弁元弁機能検査		
				130M			
				130M			
	加圧器逃がし弁前弁駆動部		高	78M			
				13M~78M			
1F				1次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後		
A 1次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ) 4. 分解点検 (フライホイール) (電動機) 5. 分解点検 (軸受分解) (電動機) 6. 分解点検 (全分解) (電動機) 7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	130M			
				13M	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施	
				104M			
				52M			
				104M			
				26M			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	I 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシールポンプ)		13M		
		4. 分解点検 (フライホイール電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替電動機)		26M		
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	I 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシールポンプ)		13M		
		4. 分解点検 (フライホイール電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替電動機)		26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D1 一次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	I 一次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		13M	I 一次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解 (電動機))		52M		
		6. 分解点検 (全分解 (電動機))		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	I 次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M~260M		
		3. 分解点検	低	78M~130M	I 次系弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 (グラウンドパッドハンギン取替)	高・低	39M~130M		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	I 次系弁検査	
		2. 分解点検		26M~65M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~65M		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他機器	1式	1. 分解点検也	高	13M~104M		
		2. 分解点検也	低	13M~65M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備・診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁 20個 B, D系 3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-526D 3V-MS-527D 3V-MS-528D 3V-MS-529D 3V-MS-530D	1. 機能・性能試験	高	1F	主蒸気安全弁機能検査	
		1. 漏えい試験 2. 分解点検	高	B 26M	主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁	A, C系 3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-530C	1. 漏えい試験 2. 分解点検	高	B 26M	主蒸気安全弁漏えい検査	
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
主蒸気逃がし弁駆動部	4個 3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	1. 漏えい試験	高	B	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		2. 分解点検	高	13M		
主蒸気隔離弁	4個 3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C 3V-MS-533D	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	52M 13M		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	主蒸気隔離弁機能検査	
主蒸気隔離弁駆動部	15個	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	39M 39M 39M 39M 39M 13M	2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査 2次系弁検査	
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	タービンバイパス弁機能検査	
タービンバイパス弁	タービンバイパス弁駆動部	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	26M 52M 13M		
		1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	タービンバイパス弁機能検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)					
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B 26M～260M 52M～130M	2次系弁検査 2次系弁検査						
		2. 分解点検									
		3. 簡易点検 (グラウンドパツキン取替)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の弁駆動部	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B 26M～182M 13M～182M	2次系弁検査						
		2. 分解点検									
		3. 簡易点検 (特性点検)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の機器	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 分解点検他	高	13M～104M							
		2. 分解点検他									
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定から設定					
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
		1. 機能・性能試験					有効性評価 No. 21 の反映	78M			
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
B 余熱除去ポンプ・電動機	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定から設定					
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	78M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査						
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	91M	1次系ポンプ機能検査						
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	78M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査						
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	26M	1次系ポンプ機能検査						
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	26M	1次系ポンプ機能検査						
		2. 分解点検 (ポンプ)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)									
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)									
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)									

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	低圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定検 から設定
		3V-RH-050A				
	3V-RH-050B	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定検 から設定
		3V-RH-050C				
		3V-RH-050D				
	3V-RH-051A	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定検 から設定
		3V-RH-051B				
	A余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M		
	B余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査 1次系安全弁検査
2. 分解点検			高	52M～260M		
3. 分解点検			低	130M	1次系弁検査	
4. 簡易点検 (グラウンドパツキン取 替)			高・低	65M～130M		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査	
		2. 分解点検		52M～182M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他機器	1式	1. 分解点検也	高	13M～91M		
		2. 分解点検也	低	65M～130M		
その他AM(代替再循環) 機器	1式	1. 分解点検也	高	130M～182M	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	非常用炉心冷却系機能検査		
		2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態監視等含む)					
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	IF	その他原子炉注水系機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・A, B 高圧注入ポンプ ・A, B 余熱除去ポンプ [対象設備] ・A, B 低圧注入系 ・A, B 高圧注入系 ・B 高圧注入系 (電動機海水冷却) ・A, B, C 充てん系 ・B 充てん系 (電動機自己冷却) 16 回施設設定検から設定	
	A 高圧注入ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16 回施設設定検から設定
			2. 分解点検 (電動機)		91M		
			3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		130M		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	B 高圧注入ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16 回施設設定検から設定
			2. 分解点検 (電動機)		91M		
			3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		130M		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( () 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	16回施設設定検時に設置	
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 備えい試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機)	高	1F 130M 130M	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	16回施設設定検時に設置	
可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬型重大事故対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 16回施設設定検時に設置	
		2. 分解点検 (ポンプ)		10Y			
		3. 分解点検 (電動機)		130M			
	高圧注入系主要弁	3V-SI-082A 3V-SI-082B 3V-SI-082C 3V-SI-082D 3V-SI-072A 3V-SI-072B 3V-SI-072C 3V-SI-072D 3V-SI-079A 3V-SI-079B 3V-SI-079C 3V-SI-079D	1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
			1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部を含む)	高	1F	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	その他原子炉注水系機能検査は、16回施設設定から設定
	蓄圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁 検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、16回施設設定 から設定



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁駆動部  A蓄圧タンク B蓄圧タンク C蓄圧タンク D蓄圧タンク 燃料取替水ピット A、B格納容器再循環サンプ A、B格納容器再循環サンプスクリーン  原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 備 その他の弁  原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 備 その他の弁駆動部  原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 備 その他機器 充てんポンプ  A充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	182M 13M~182M			
		1. 開放点検	高	130M			
		1. 開放点検	高	130M			
		1. 開放点検	高	130M			
		1. 開放点検	高	130M			
		1. 外観点検	高	1F			
		1. 外観点検	高	1F			
		1. 外観点検	高	1F			
		2. 外観点検	高	10Y		原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査	
		1. 機能・性能試験	高・低	B		I次系弁検査 I次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	65M~260M		I次系弁検査	
		3. 分解点検	低	78M~260M		I次系逆止弁検査	一部BMあり 有効性評価 No.20 の反映
		4. 簡易点検 (グラウンドバッキング 替)	高・低	78M~130M			
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B		I次系弁検査	
3. 簡易点検 (特性点検)		65M~182M 13M~182M					
1. 分解点検也 2. 分解点検也	高 低	13M~91M 13M~130M					
1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含 む)	高	1F		充てんポンプ冷却材補給系 機能検査			
1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M		その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系充てんポン プ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定検 から設定		
2. 分解点検 (電動機)		91M					
3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替)		26M					
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M					
5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)			
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定検から設定			
		2. 分解点検 (電動機)		91M					
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		26M					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M					
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M					
	C 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	65M	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(電動機 振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定検から設定			
		2. 分解点検 (電動機)		104M					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M					
		1. 分解点検		高			130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
		1. 分解点検					130M		
	その他原子炉注水系主要弁	3V-CS-155	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定			
		3V-CS-157							
		3V-CS-164							
		3V-CS-166							
	体積制御タンク 冷却材フィルタ A 冷却材脱塩塔入口フィルタ B 冷却材脱塩塔入口フィルタ A 封水注入フィルタ B 封水注入フィルタ 非再生冷却器 封水冷却器	1. 開放点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定			
		1. 開放点検		130M					
		1. 開放点検		130M					
		1. 開放点検		130M					
		1. 開放点検		130M					
		1. 開放点検		130M					
1. 開放点検		130M							
1. 開放点検		130M							
1. 開放点検		130M							
1. 開放点検		130M							
2. 非破壊試験		130M							
3. 漏えい試験		130M							
1. 開放点検		130M							
2. 非破壊試験	130M								
3. 漏えい試験	130M								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	余剰抽出水冷却器	1. 開放点検	高	130M			
		2. 非破壊試験		130M			
		3. 漏えい試験		130M			
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高	13M～260M	1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
			3. 分解点検	低	104M～130M	1次系弁検査	一部BMあり
			4. 簡易点検 (グラウンドパッドバッキン取替)	高・低	65M～130M		
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査	
			2. 分解点検		52M～182M		
			3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器	1式	1. 分解点検也	高	13M～130M			
		2. 分解点検也	低	13M～130M		一部BMあり	
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	A 原子炉補機冷却系 (冷却水系)	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	原子炉補機冷却系機能検査		
		1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M			
		3. 分解点検 (電動機)		91M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M			
	B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M			
		3. 分解点検 (電動機)		91M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)		26M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	I 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M			
		3. 分解点検 (電動機)		91M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M			
	D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	I 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M			
		3. 分解点検 (電動機)		91M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M			
	大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	P 16回施設設定検時に設置 検停止中
			2. 分解点検		10Y		
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	P 16回施設設定検時に設置
	原子炉補機冷却水サージタンク		1. 開放点検		130M		
	原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁 A原子炉補機冷却水冷却器		1. 分解点検	高	130M	I 次系真空破壊弁検査	
		1. 開放点検	13M				
3. 漏えい試験		13M					
B原子炉補機冷却水冷却器		1. 開放点検	高	13M	I 次系熱交換器検査	有効性評価 No. 2 の反映	
		2. 非破壊試験		13M			
	3. 漏えい試験	26M					
				13M	I 次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査	
		2. 分解点検		130M～260M	1次系安全弁検査	
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M～195M	1次系弁検査	
		1. 機能・性能試験		B	1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他の弁駆動部	2. 分解点検	高・低	65M～182M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
		1. 分解点検也		65M～130M		
		2. 分解点検也		13M～65M		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 その他機器	1. 分解点検也	高	13M～130M		
		1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)		高		
		1. 機能・性能試験		高		
		2. 分解点検 (ポンプ)		高		
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	A 海水ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (電動機)	高	52M	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		104M	2次系ポンプ分解検査	
		1. 機能・性能試験		13M		
		2. 分解点検 (ポンプ)				
	B 海水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)	高	B*	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		52M	2次系ポンプ分解検査	
		1. 機能・性能試験		104M		
		2. 分解点検 (ポンプ)		13M		
	C 海水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)	高	B*	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		52M	2次系ポンプ分解検査	
		1. 機能・性能試験		104M		
		2. 分解点検 (ポンプ)		13M		



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	3 復水ピット 原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1. 外観点検	高	IF			
		1. 機能・性能試験	高	B	2次系弁検査		
		2. 分解点検		78M~260M	2次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (グラランドパッドパッキン取替)			130M		
		1. 機能・性能試験	高	B	2次系弁検査		
		2. 分解点検		78M~182M			
	計測制御系統施設 [制御材]	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	3. 簡易点検 (特性点検)	高	13M~182M		
			1. 分解点検也	高	13M~130M		
			1. 外観点検	高	IF	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
		制御棒クラスタ バーナブルボイズン	1. 外観点検	高	IF	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
1. 外観点検			高	IF	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
2次中性子源			高	IF	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
シンブルグラファアセンブリ 制御棒クラスタ		※ 1式	高	IF	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
		53本	高	IF	制御棒駆動系機能検査		
			高	IF	制御棒クラスタ動作検査		
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]		A 制御棒駆動装置MGセット	1. 分解点検	高	52M		(振動診断：3M)
	2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)			26M			
	1. 分解点検		高	52M		(振動診断：3M)	
	B 制御棒駆動装置MGセット	2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)			26M		
		1. 分解点検	高	52M		(振動診断：3M)	
		1. 分解点検也	高・低	13M~39M			
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	計測制御系統施設 [制御棒駆動装置] その他機器	1. 機能・性能試験	高	B*	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		78M	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M		
		A ほう酸ポンプ・電動機	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)			26M	
1. 機能・性能試験			高	B*	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)	
2. 分解点検 (ポンプ)				78M	ほう酸ポンプ分解検査		
B ほう酸ポンプ・電動機		3. 分解点検 (電動機)		52M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)			26M		
		1. 機能・性能試験	高	B*	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	3 4 A 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	1 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M			
		3. 分解点検 (電動機)		78M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
	3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	1 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) 先行実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M			
		3. 分解点検 (電動機)		78M			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
	A ほう酸タンク A ほう酸タンク真空逃がし弁 B ほう酸タンク 3 4 A 1 次系純水タンク 3 4 A 1 次系純水タンクパキエムリリーフ弁 3 4 A 1 次系純水タンクアトモス弁 3 4 B 1 次系純水タンク 3 4 B 1 次系純水タンクパキエムリリーフ弁 3 4 B 1 次系純水タンクアトモス弁 ほう酸フィルタ 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] 以外の弁 A T W S 緩和設備	1. 開放点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	先行実施	
		1. 分解点検		130M			
		1. 開放点検		130M			
		1. 分解点検		130M			
		1. 開放点検		130M			
		1. 分解点検		130M			
		1. 開放点検		130M			
		1. 分解点検		130M			
1. 開放点検		130M					
1. 分解点検		130M					
1. 開放点検		130M					
1. 分解点検		130M					
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	A T W S 緩和設備	1. 特性試験	高	13M	重大事故時安全停止回路機能検査 重大事故時安全停止回路機能検査	16回施設設定検査時に設置	
		2. 機能・性能試験		1F			
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機、電動機等含む)	高	1F	制御用空気圧縮機能検査		
		2. 分解点検 (電動機)		1F			
	A 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機)	高	13M			(電動機 振動診断 : 6 M)
		2. 分解点検 (電動機)		52M			
	B 制御用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検 (圧縮機)	高	13M			(電動機 振動診断 : 6 M)
		2. 分解点検 (電動機)		52M			



機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	代替制御用空気供給設備	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高 高・低	1F B 13M～195M 130M	1次系弁検査 1次系弁検査	16回施設設定検時に設置
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラブドパッキン取替)	高	B 13M～182M 13M～182M	1次系弁検査	有効性評価 No. 4 の反映
計測制御系統施設 〔その他設備〕	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他機器	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高 高 低	13M～78M 13M		
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他機器	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高 高 低	13M～78M 13M	安全保護系機能検査	
計測制御系統施設 〔その他設備〕	原子炉保護系ロジック回路 ・安全保護系ロジック回路 ・パームシシブロジック回路	28回路 25回路 6回路	高	1F	安全保護系機能検査	
	原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 ・1次冷却材等計測装置 保護継電器 伝送器 設定器 ・核計測装置 設定器 ・核計測装置 重要な指示計器 ・1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	6個 76個 117個 20個 31個 8個	高・低	13M	安全保護系設定値確認検査	
計測制御系統施設 〔その他設備〕	事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	2個 16個 8個 10個	高	13M	プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	高	1F	プラント状態監視設備機能検査	
計測制御系統施設 〔その他設備〕	制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1式	高	1F	計測制御系機能検査	一部施設設定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	高・低 高	13M 13M	計測制御系監視機能検査 核計測設備検査	一部施設設定検起動後
計測制御系統施設 〔その他設備〕	炉外核計測装置 ・中性子源領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個	高	13M	核計測設備検査	
	炉内核計測装置 駆動装置	4台	高	1F 13M	核計測設備検査	
計測制御系統施設 〔その他設備〕	制御棒位置指示装置	1. 特性試験	高	13M	制御棒位置指示装置設定値検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [その他設備]	炉内計装用シンブルチューブ	58本	高	78M	炉内計装用シンブルチューブ 本体種検査	
	総合インターロック ・原子炉トリップ信号 (タービン、発電機トリップ) ・タービントリップ信号 (原子炉、発電機トリップ) ・発電機トリップ信号 (原子炉、タービントリップ)	1式	高	1F	総合インターロック検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理 設備]	中央制御室外の原子炉の停止制御(御回路)	24回路	高	1F	原子炉の停止制御回路健全 性確認検査	16回施設定検時に設置
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	高	13M	プラント状態監視機能 検査	16回施設定検時に設置
	原子炉水位	1個	高	13M	プラント状態監視機能 検査	プラント状態監視設備機能 検査は、17回施設定検から 実施
	AM用格納容器圧力	1個	高	13M	プラント状態監視機能 検査	
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	高	26M	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライ ン圧力	2個	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設定検時に設置
	格納容器スプレイ積算流量	1個	高	13M	プラント状態監視機能 検査	16回施設定検時に設置
	原子炉格納容器水位	1対	高	1F	プラント状態監視機能 検査	16回施設定検時に設置
	原子炉下部キャビティ水位	1対	高	1F	プラント状態監視機能 検査	16回施設定検時に設置
	アニュラス水素濃度	2個	高	13M	プラント状態監視機能 検査	16回施設定検時に設置
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	高	1F	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	16回施設定検時に設置
	計測制御系統施設 [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B 78M~260M 65M~130M	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
	計測制御系統施設 [その他設備] その他機器	1式	高	13M~52M 13M~78M	1. 特性試験也 2. 特性試験也	一部BMあり
	ガス圧縮装置	2台	低	1F 13M~130M	1. 機能・性能試験 2. 分解点検也	気体廃棄物処理系機能検査 先行実施
	ガスサージタンク入口弁	4個	高	CBM	3. 分解点検 (電動機)	(振動診断：1・2M) 先行実施
	除湿装置・活性炭式希ガスホルドアッ プ装置	1基	低	1F 130M 13M~130M	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 1. 機能・性能試験 2. 分解点検也	気体廃棄物処理系機能検査 先行実施 先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	ほう酸回収装置	2基	低	IF	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
		2基		13M~195M			
		廃液蒸発装置	2基	低	IF	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施
			1基		13M~195M		
	膜分離活性汚泥処理装置	1基	低	IF	液体廃棄物処理系機能検査	先行実施	
				13M~130M			
	3 4 A 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検				
			3. 分解点検 (送風機)				
			3. 分解点検 (電動機)				
			1. 機能・性能試験				
			2. 分解点検 (送風機)				
	3 4 B 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 (送風機)				
			3. 分解点検 (電動機)				
			1. 機能・性能試験				
			2. 分解点検 (送風機)				
			3. 分解点検 (電動機)				
	3 4 C 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	気体廃棄物処理系設備検査	B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 (送風機)				
3. 分解点検 (電動機)							
1. 機能・性能試験							
2. 分解点検 (ポンプ)							
3. 分解点検 (電動機)							
A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)					
		3. 分解点検 (電動機)					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)					
		1. 機能・性能試験					
		2. 分解点検 (ポンプ)					
B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)					
		3. 分解点検 (電動機)					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)					
		1. 機能・性能試験					
		2. 分解点検 (ポンプ)					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (電動機)				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)				
	3 4 B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (電動機)				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)				
	3 4 A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (電動機)				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)				
3 4 B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)					
	3. 分解点検 (電動機)					
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)					
A 格納容器サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (水中ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (電動機)				
B 格納容器サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (水中ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (電動機)				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M		
		3. 分解点検 (電動機)		195M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	3 4 B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M		
		3. 分解点検 (電動機)		195M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	A 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M		
		3. 分解点検 (電動機)		156M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
B 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M			
	3. 分解点検 (電動機)		156M			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
3 4 A 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M			
	3. 分解点検 (電動機)		195M			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
3 4 B 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M			
	3. 分解点検 (電動機)		195M			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M			
3 4 強酸ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		78M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えいに係る警報機能	1式	低	13M 1F	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施	
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置及び警報装置機能 (最終の流入サブ)	1式	低	1F	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サブ)	先行実施	
	雑固体焼却設備	1台	低	1F	固体廃棄物処理系統却戸機能検査	先行実施	
	乾燥造粒装置	1式	低	13M~130M 1F	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	有効性評価 No.23 の反映 先行実施	
	セメントガラス固化装置	1式	低	13M~156M 1F	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	先行実施	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1式	低	13M~195M B	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	先行実施	
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1式	低	13M~130M B	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	有効性評価 No.22 の反映	
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1式	高・低	65M~130M 13M~130M	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
		流体状の放射性廃棄物の漏えい及び警報装置	1式	低	13M~130M	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施
		A格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	3R-91A	高	13M	エアモニタ機能検査	
		A格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	3R-91B	高	13M	エアモニタ機能検査	
		B格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	3R-92A	高	13M	エアモニタ機能検査	
		B格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	3R-92B	高	13M	エアモニタ機能検査	
		A排気筒ガスモニタ	3R-21A	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		B排気筒ガスモニタ	3R-21B	低	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕			低	13M	放射線監視装置機能検査
				低	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	廃棄物処理設備排水モニタ	34R-35	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-40	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	格納容器じんあいモニタ	34R-41	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-43	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	格納容器ガスモニタ	34R-50	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-55	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	復水器空気抽出器ガスモニタ	34R-56	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-57	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	建屋内漏えい検知ガスモニタ	34R-58	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-65	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	蒸気発生器ブロアダウンスモニタ	34R-66	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-67	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	原子炉補機冷却水モニタ	34R-68	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-70	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	補助蒸気復水モニタ	34R-71	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-72	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	タービン建屋床下ドレン集水モニタ	34R-73	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-80A	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	A 高感度型主蒸気管モニタ	34R-80B	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-87	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B 高感度型主蒸気管モニタ	34R-88	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-89	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C 高感度型主蒸気管モニタ	34R-90	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-99	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D 高感度型主蒸気管モニタ	34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-2	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	冷却材連続モニタ	34R-3	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-71	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	ほう酸蒸留水モニタ	34R-72	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-73	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	廃棄物処理設備排ガスモニタ	34R-73	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-80A	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	34R-80A	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-80B	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	34R-87	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-88	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	34R-89	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-90	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	A 主蒸気管モニタ	34R-99	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B 主蒸気管モニタ	34R-2	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-3	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C 主蒸気管モニタ	34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-2	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D 主蒸気管モニタ	34R-3	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	放水口水モニタ	34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
34R-2		1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
中央制御室エリアモニタ	34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
	34R-2	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
格納容器エアロック区域エリアモニタ	34R-2	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
	34R-3	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
放射線化学室エリアモニタ	34R-3	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	
	34R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	放射線監視装置機能検査	一部先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4A	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4B	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	C 充てんポンプ室エリアモニタ	3R-4C	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	試料採取室エリアモニタ	3R-6	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	ドラム詰室エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	I 次系補機操作室エリアモニタ	34R-11	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	雑固体固化処理エリアモニタ	34R-12	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査	
	緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	2台	1. 特性試験	1Y	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 16回施設定検時に設置
	緊急時対策所内可搬型エリアモニタ	3台	1. 特性試験	1Y	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 16回施設定検時に設置
	放射線管理施設 〔換気設備〕	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	3台	1. 特性試験	13M	放射線監視装置機能検査
モニタリングステーション		1式	1. 特性試験	13M	野外モニタ機能検査	1号機設備
モニタリングポスト		5台	1. 特性試験	13M	野外モニタ機能検査	1号機設備
可搬式モニタリングポスト		17台	1. 特性試験	1Y	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 16回施設定検時に設置
放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕 その他機器		1式	1. 分解点検也 2. 分解点検也	13M 13M		
中央制御室非常用循環系			1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、ダンパ、ダンパ駆動部等含む)	1F	中央制御室非常用循環系機能検査	
A 中央制御室非常用循環ファン・電動機			1. 分解点検 (ファン)	91M		(振動診断：3M)
B 中央制御室非常用循環ファン・電動機			2. 分解点検 (電動機)	78M		
			1. 分解点検 (ファン)	91M		(振動診断：3M)
			2. 分解点検 (電動機)	78M		
中央制御室非常用循環ユニット		1系列	1. 機能・性能試験 (よう素フィルター) 2. 開放点検 (フィルター取替) 3. 機能・性能試験 (差圧確認) 4. 開放点検	1F X* 1F 260M	中央制御室非常用循環系 フィルター性能検査 1次系換気空調設備検査	X*：機能・性能試験結果により適宜実施



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)		
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施		
		2. 分解点検 (ファン)		B			電動機分解時に分解点検を実施	
		3. 分解点検 (電動機)		130M			先行実施 (電動機 振動診断: 1 2 M)	
	B 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	電動機分解時に分解点検を実施	
		2. 分解点検 (ファン)		B				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		130M				先行実施 (電動機 振動診断: 1 2 M)
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		130M				先行実施
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		130M				先行実施
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		65M				先行実施
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		65M				先行実施
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		65M				先行実施
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1 次系換気空調設備検査	先行実施	有効性評価 No. 5 の反映 (振動診断: 1 2 M)	
		2. 分解点検 (ファン)		130M				先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		65M				先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)					
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF 130M	1 次系換気空調設備検査						
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									
		B 格納容器空気浄化ファン・電動機					1. 機能・性能試験	低	IF 130M	1 次系換気空調設備検査	
							2. 分解点検 (ファン)				
							3. 分解点検 (電動機)				
		A 中央制御室循環ファン・電動機					1. 機能・性能試験	高	IF 78M	1 次系換気空調設備検査	
							2. 分解点検 (ファン)				
							3. 分解点検 (電動機)				
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF 78M	1 次系換気空調設備検査						
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									
	A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF 91M	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断: 6 M) (電動機 振動診断: 2 M) 有効性評価 No. 5 の反映					
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									
	B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF 91M	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断: 6 M) (電動機 振動診断: 2 M) 有効性評価 No. 5 の反映					
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									
	3 4 A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF 130M	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施					
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									
	3 4 B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF 130M	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施					
		2. 分解点検 (ファン)									
		3. 分解点検 (電動機)									

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	3 4 B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	A 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	B 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	C 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
3 4 ベイラ排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	IF	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1・2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		10AM			
	3. 分解点検 (電動機)		10AM			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 ホット工作室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 一次換気空調設備検査	先行実施 電動機分解時に分解点検を実施	
		2. 分解点検 (ファン)		B			
		3. 分解点検 (電動機)		156M			
	A 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 一次換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3M)	
		2. 分解点検 (ファン)		104M			
		3. 分解点検 (電動機)		104M			
	B 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 一次換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3M)	
		2. 分解点検 (ファン)		104M			
		3. 分解点検 (電動機)		104M			
	A ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 一次換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		78M			
		3. 分解点検 (電動機)		78M			
	B ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 一次換気空調設備検査		
		2. 分解点検 (ファン)		78M			
		3. 分解点検 (電動機)		78M			
	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	4台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型換気空調設備検査	16回施設定検時に設置
		4台	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)		1F		
	A 格納容器排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1 一次換気空調設備検査	先行実施
			2. 開放点検		BM		
	B 格納容器排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1 一次換気空調設備検査	先行実施
			2. 開放点検		BM		
	格納容器空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1 一次換気空調設備検査	
			2. 開放点検		BM		
	3 4 出入管理室排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1 一次換気空調設備検査	
2. 開放点検			BM				
A 補助建屋排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1 一次換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検		52M			
B 補助建屋排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1 一次換気空調設備検査	先行実施	
		2. 開放点検		52M			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 ベイラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F BM	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	3 4 ホット工作室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F BM	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	3 4 試料採取室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F BM	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F 52M		先行実施	
	B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F 52M		先行実施	
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F 52M			
	B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F 52M			
	3 4 放射線管理室給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F 52M		先行実施	
	A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F 52M		先行実施	
	B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F 52M		先行実施	
	A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M			
	B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M			
	A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M			
	B 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M			
	自動ダンプ	1式	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む) 2. 分解点検他	高・低	1F 65M	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施
	自動ダンプ駆動部	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高・低	52M~156M 13M~65M		一部先行実施 有効性評価 No. 10, 11 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)		
放射線管理施設 [換気設備]	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	I 次系安全弁検査	( )内は適用する設備診断技術)		
		2. 分解点検		130M			一部先行実施	
		3. 簡易点検 (グラブドパッキン取替)		130M				
放射線管理施設 [換気設備]	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	I 次系弁検査	一部先行実施		
		2. 分解点検		52M~182M			有効性評価 No. 12 の反映	
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M				
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1. 分解点検也	高	13M~130M		一部先行実施		
		2. 分解点検也		13M~104M			有効性評価 No. 6, 7, 8, 9, 13 の反映	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高・低	13M				
放射線管理施設 [その他設備]	中央制御室	1. 漏えい試験	高	6Y	中央制御室の居住性確認 検査			
		1. 機能・性能試験		高			1F	緊急時対策所の居住性確認 検査
		1. 特性試験		高			1Y	
放射線管理施設 [その他設備]	可搬型気象観測装置	1. 特性試験	低	1Y	計測制御系監視機能検査	プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置 プラント運転中又は施設設定 検停止中 1号機設備 10年に1回は設計圧力にて 実施		
		1. 漏えい率試験		高			3F	原子炉格納容器全体漏えい 率検査
		1. 機能・性能試験		高			5Y	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 機能・性能試験	高	5Y	プレストレストコンクリー ト格納容器供用期間中検査			
		2. 外観点検		5Y			プレストレストコンクリー ト格納容器供用期間中検査	
		1. 漏えい率試験		高				2/3F
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	エアロック	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査			
		2. 分解点検		52M				
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M				
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	機器搬入口	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査			
		2. 分解点検		52M				
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M				
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	機器搬入口	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査			
		2. 開放点検		13M			原子炉格納容器供用期間中 検査	
		3. 非破壊試験		10Y				

IS1プログラムによる。  
[参考資料 1 別紙-6]

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	配管貫通部 (貫通配管閉止フランジ部)	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 開放点検		開放の都度			
	電線貫通部	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	原子炉格納容器隔離弁	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	原子炉格納容器隔離 (T・V信号及びT・UV信号)により隔離される弁	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離 (P・V信号)により隔離される弁	3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-042	1. 分解点検	高	13M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁	3V-WL-043	1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-143	1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁	3V-WL-144	1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁	3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-DP-002A	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁	3V-DP-002B	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CS-007	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3V-CS-312	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の弁	1式	1. 分解点検	高	52M~182M				
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M				
		1. 機能・性能試験	高・低	B	I次系弁検査 I次系安全弁検査			
		2. 分解点検		78M~260M	I次系弁検査			
		3. 分解点検	高	26/39M*	I次系弁検査	*原子炉格納容器局部漏えい率検査の実施時期にあわせて実施		
		4. 簡易点検 (クランプトパッキン取替)	高・低	52M~130M				
		1. 機能・性能試験	高	B	I次系弁検査			
		2. 分解点検		65M~182M				
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M				
		1. 分解点検也	高	13M~104M				
		2. 分解点検也	低	13M~52M				
		原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の機器	1式	1. 機能・性能試験	高	B	I次系弁検査	
				2. 分解点検		65M~182M		
3. 簡易点検 (特性点検)				13M~182M				
1. 分解点検也	高			13M~104M				
2. 分解点検也	低			13M~52M				



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	IF	原子炉格納容器安全系機能検査	〔対象設備〕 ・ A 格納容器スプレイポンプによる代替炉心注入系16回施設設定検から設定	
		2. 機能・性能試験			その他原子炉注水水系機能検査		
		3. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態監視等含む)			運転中の主要機器機能検査		
	A 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) 前回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定検から設定	
					2. 分解点検 (電動機)		
					3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		
					4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		
					5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		
	B 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断：3M) 前回は、格納容器スプレイ系ポンプ分解検査として実施 有効性評価 No. 21 の反映	
					2. 分解点検 (電動機)		
					3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		
					4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		
					5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設 備]	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	1 次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	1 次系熱交換器検査			
		3. 漏えい試験		130M	1 次系熱交換器検査			
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	1 次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	1 次系熱交換器検査			
		3. 漏えい試験		130M	1 次系熱交換器検査			
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3V-CP-024A	1. 分解点検	高	78M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査	前回は、原子炉格納容器ス プレイ系主要弁分解検査と して実施	
			1. 分解点検		78M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査		前回は、原子炉格納容器ス プレイ系主要弁分解検査と して実施
			1. 分解点検		130M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査		
			1. 分解点検		130M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査		
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	182M			
			2. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M			
	よう素除去薬品タンク	2台	1. 開放点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査		
			1. 分解点検		130M	アニュウラス循環排気系機能 検査		
			1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部、ダンパ、ダン パ駆動部等含む)		IF			
	Aアニュウラス空気浄化ファン・電動機		1. 分解点検 (ファン)	高	B		電動機分解時に実施	
			2. 分解点検 (電動機)		130M	(電動機 振動診断：1 M) 有効性評価 No.5 の反映 電動機分解時に実施		
	Bアニュウラス空気浄化ファン・電動機		1. 分解点検 (ファン)	高	B		(電動機 振動診断：1 M) 有効性評価 No.5 の反映 電動機分解時に実施	
			2. 分解点検 (電動機)		130M			
	A, Bアニュウラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	IF	アニュウラス循環排気系フイ ルター性能検査	有効性評価 No.5 の反映 A系、B系交互に実施 X*：機能・性能試験結果 により適宜実施	
2. 開放点検 (フィルタ取替)			X*					
Aアニュウラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	IF	1 次系換気空調設備検査			
		2. 開放点検		260M				
Bアニュウラス空気浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	IF	1 次系換気空調設備検査			
		2. 開放点検		260M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3V-VS-102A	高	65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		3V-VS-102B	高	65M	1. 分解点検	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
		3V-VS-103A	高	65M	1. 分解点検	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
		3V-VS-103B	高	65M	1. 分解点検	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定
	静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験 2. 外観点検 (触媒プレート上) 3. 外観点検 (本体)	高	5F 5F 1F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	16回施設設定検時に設置
		14個	1. 外観点検	高	1F		
			2. 絶縁抵抗測定		1F		
			3. 抵抗測定		1F		
	4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)			1F			
	原子炉格納容器水素燃焼装置	静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置
		原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置
		原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の] 式安全設備] 其他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラブドパッキン取替)	高・低	B 104M~130M 78M~130M	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の] 安全設備] 其他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 182M 13M~182M	1次系弁検査	
		1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	10F 130M		
1. 機能・性能試験 2. 分解点検			高	130M			
其他AM (格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検	高	130M	1次系逆止弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1 機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	高	10Y IF	クラス1 機器供用期間中検査 クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-1]
	クラス2 機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	高	10Y 10Y	クラス2 機器供用期間中検査 クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-2]
	クラス3 機器 (供用期間中検査対象)	1式	高	10Y 10Y	クラス3 機器供用期間中検査 クラス3 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-3]
	クラス1 機器N1基金使用部位 (重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	高	5Y	供用期間中特別検査のうち クラス1 機器N1基金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-4]
	クラス2 管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2 機器供用期間中検査対象含む)	1式	高	25%/10Y	供用期間中特別検査のうち クラス2 管 (原子炉格納容 器内) 特別検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-5]
	重大事故等クラス2 機器	1式	高	5~10Y 10Y	重大事故等クラス2 機器供 用期間中検査 重大事故等クラス2 機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-7] 16回施設設定検時に設定
	重大事故等クラス3 機器	1式	高	10Y	重大事故等クラス3 機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [参考資料1別紙-8] 17回施設設定検時から設定
	クラス3・クラス4の配管等	1式	高	100%/10Y	構造健全性検査	排気筒については5Fで実 施
	RCPBのベント・ドレン弁シート部	1式	高	13M	構造健全性検査	
	1次冷却材管ホップレスタレイント	84箇所	高	IF	レストレイント検査	
	主蒸気配管ホップレスタレイント	4箇所	高	IF	レストレイント検査	
	主給水配管ホップレスタレイント	10箇所	高	IF	レストレイント検査	
原子力設備 [その他設備] その他の弁	1式	高・低	B 65M~260M 78M~130M	1次系弁検査 1次系弁検査		
原子力設備 [その他設備] その他の弁駆動部	1式	高・低	B 65M~130M 13M~130M	1次系弁検査		
原子力設備 [その他設備] その他機器	1式	高	13M~130M	1次系弁検査		
耐震クラスS, Bの支持構造物	1式	低 高	13M~130M 100%/10Y	耐震健全性検査	一部BMあり クラス1, 2, 3 供用期間 中検査対象機器を除く	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		26M	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査		
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M			
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	ロータライメント 調速装置および非常調速装置	1. 組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査		
		1. 外観点検		1F	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		13M	蒸気タービン開放検査		
	1 主蒸気止め弁	MSV-1	1. 組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	蒸気タービン開放検査	
	2 主蒸気止め弁	MSV-2	1. 組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	蒸気タービン開放検査	
	3 主蒸気止め弁	MSV-3	1. 組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		13M	蒸気タービン開放検査	
	4 主蒸気止め弁	MSV-4	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
			2. 組立状況点検		B	蒸気タービン開放検査	
	1 蒸気加減弁	GOV-1	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
2. 組立状況点検			B		蒸気タービン開放検査		
2 蒸気加減弁	GOV-2	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		B	蒸気タービン開放検査		
3 蒸気加減弁	GOV-3	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		B	蒸気タービン開放検査		
4 蒸気加減弁	GOV-4	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査		
		2. 組立状況点検		B	蒸気タービン開放検査		
A 1 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	蒸気タービン開放検査		
A 2 再熱蒸気止め弁	A2-RSV	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	蒸気タービン開放検査		
B 1 再熱蒸気止め弁	B1-RSV	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	蒸気タービン開放検査		
B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	蒸気タービン開放検査		
B 3 再熱蒸気止め弁	B3-RSV	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
		1. 開放点検		26M	蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査		
	蒸気タービン 〔復水器〕	復水・循環水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	蒸気タービン附属設備機能検査	
			1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
	蒸気タービン 〔復水器〕	復水器 1 A	2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
		復水器 2 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
復水器 3 A		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M			
		1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M			
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M			
蒸気タービン 〔復水器〕		復水器 1 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
			2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
			1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
	復水器 2 B	2. 開放点検 (漏えい試験)		78M			
		1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M			
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M			
復水器 3 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M				
	2. 開放点検 (漏えい試験)		78M				
	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M				
A 循環水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		65M				
	3. 簡易点検 (翼油導入装置点検) (ポンプ)		26M				
	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M				
B 循環水ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		65M				
	3. 簡易点検 (翼油導入装置点検) (ポンプ)		26M				
	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術) (振動診断：6M)	
蒸気タービン 〔復水器〕	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M 78M		( )内は適用する 設備診断技術) (振動診断：6M)	
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	52M 78M			
	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M 78M			
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M 78M			
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ボンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	39M 78M			
	蒸気タービン〔復水器〕 その他機器	1式	1. 分解点検也 2. 分解点検也	高 低	13M～260M 13M～130M		一部BMあり
	A 湿分分離加熱器 (胴側)		1. 開放点検	高	26M		蒸気タービン開放検査
	A 湿分分離加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M 130M		蒸気タービン開放検査
	B 湿分分離加熱器 (胴側)		1. 開放点検	高	26M		蒸気タービン開放検査
	B 湿分分離加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M 130M		蒸気タービン開放検査
	A 第1 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査
	B 第1 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査
	C 第1 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査
	A 第2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査
	B 第2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査
	C 第2 低圧給水加熱器		1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M		2次系熱交換器検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	A第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	A第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	A第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	脱気器タンク	1. 開放点検	高	39M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		39M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		39M	2次系容器検査	
A第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	2次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M			
	3. 漏えい試験		130M			
B第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	2次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M			
	3. 漏えい試験		130M			
グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	2次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M			
	3. 漏えい試験		65M			
給水、復水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	蒸気タービン附属設備機能検査		
	1. 機能・性能試験 (タービン)		B	2次系ポンプ機能検査		
	2. 分解点検 (ポンプ)		52M			
Aタービン動主給水ポンプ・タービン	3. 分解点検 (タービン)	高	52M	2次系ポンプ分解検査		
	1. 分解点検 (ポンプ)		52M			
	2. 分解点検 (電動機)		78M			
Aタービン動主給水ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (ポンプ)	高	13M			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (タービン)	高	B 52M 52M 52M	2次系ポンプ機能検査  2次系ポンプ分解検査	
	Bタービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	78M 13M		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機)	高	130M 52M	2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	78M 78M 13M	2次系ポンプ分解検査	
	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	78M 78M 13M		
	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	78M 78M 13M		
	C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	78M 78M 13M		
	3 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	2次系ろ過器検査	有効性評価 No. 24 の反映
	3 B 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	2次系ろ過器検査	有効性評価 No. 24 の反映
	3 A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	
	3 B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	
	3 C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	
	3 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	
	3 E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	
	3 F 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系ろ過器検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕 その他機器	1. 分解点検也 2. 分解点検也	高 低	13M~156M 13M~130M		一部BMあり
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレイン系統) 2次系配管等* (上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレイン系統・復水系統・その他の系統) *: 配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	1. 開放点検 2. 非破壊試験 1. 外観点検* 2. 非破壊試験	高 高・低	13M 肉厚管理指針による 10Y 肉厚管理指針による	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 2次系配管検査 2次系配管検査	施設定検起動後
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン及び附属設備 蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁	1. 保安装置点検 2. 負荷点検 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラントドパッキン取替)	高 高・低 高 低 高・低	IF IF B 13M~260M 13M~260M 52M~130M	蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査 2次系安全弁検査	一部施設定検起動後 施設定検起動後
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性能点検)	高・低	B 52M~182M 13M~182M		
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン〔その他設備〕 その他機器	1. 分解点検也 2. 分解点検也	高 低	13M~130M 12M~260M		有効性評価 No.16 の反映 一部BMあり プラント運転中又は施設定検停止中 プラント運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	その他AM(格納容器内注水) 機器 非常用ディーゼル発電機	1. 分解点検也	高	12M~182M	1次系弁検査	
	非常用ディーゼル発電機	1. 機能・性能試験	高	IF	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	非常用炉心冷却設備作動信号及び原子炉格納容器スプレイ作動信号送信時にディーゼル発電機に電源を求めめる機器	1. 機能・性能試験	高	IF	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	A デイジーゼル発電機	1. 分解点検也	高	13M~104M				
	A デイジーゼル機関	1. 分解点検也	高	13M~156M				
	A デイジーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		A デイジーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
		A デイジーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
	A デイジーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
		No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
	B デイジーゼル発電機	1. 分解点検也		高	13M~104M			
		1. 分解点検也		高	13M~156M			
		B デイジーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
			No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査	
No. 4, 12			1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
No. 5, 13			1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
No. 6, 14			1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
No. 7, 15			1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		
No. 8, 16			1. 分解点検	高	130M	非常用デイジーゼル発電機分 解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bダイーゼル機関のシリンダカバー	1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	非常用ダイーゼル発電機分解検査		
	ダイーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検	高	1F	非常用予備発電機付属設備検査	
		2. 分解点検			26M~130M		
		3. 開放点検			26M~130M		
		4. 非破壊試験			13M	非常用予備発電機付属設備検査	
空冷式非常用発電装置	2台	5. 漏えい試験		13M			
		6. 機能・性能試験		1F	非常用予備発電機付属設備検査		
		7. 特性試験		13M	非常用予備発電機付属設備検査		
		1. 機能・性能試験	高	1F	その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査		
		2. 取替他		120M			
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査				
電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査		
		1. 開放点検	高	10Y	プラント運転中又は施設定検停止中 16回施設定検時に設置		
タンクローリー	3台	1. 機能点検	高	1Y	プラント運転中又は施設定検停止中 16回施設定検時に設置		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	非常用予備発電機付属設備検査		
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕 その他の弁	1式	2. 分解点検		26M~130M			
		1. 分解点検他	高	13M~130M			
		2. 分解点検他	低	13M~130M			
		2. 分解点検他					
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~130M			
		2. 分解点検他	低	13M~130M			
		1. 分解点検他					
		2. 分解点検他					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組)	高	1F	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査 インバータ機能検査		
	計器用電源	4台 1式	高	1F			
	可搬型整流器	1式	高	26M			
		2個	高	1F		16回施設設定検時に設置	
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)	2個	高	1F		16回施設設定検時に設置	
	その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1式	1. 分解点検也 2. 電圧測定	高	1F		
		1式	1. 分解点検也	高	13M~52M		
		1式	2. 分解点検也	低	13M~52M		
		1式	1. 分解点検也 2. 分解点検也	高	13M~104M		
	その他発電用原子炉の附属施設 [常用电源設備] その他機器	1式	1. 分解点検也	高・低	13M~156M		
1式		1. 分解点検也	高・低	52M~216M		有効性評価 No. 18, 19 の反映	
1式		1. 分解点検也	高	6M~156M		プラント運転中又は施設設定検停止中	
1式		2. 分解点検也	低	13M~130M		一部BMあり	
1台		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	1Y		プラント運転中又は施設設定検停止中	
消火水バックアップポンプ		2台	1. 機能・性能試験	低	B*	火災防護設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 16回施設設定検時に設置
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
			3. 分解点検 (電動機)		130M		
煙等流入防止装置 その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器		1式	1. 外観点検	高	1F		16回施設設定検時に設置
		1式	1. 特性試験也	低	1Y~10Y		プラント運転中又は施設設定検停止中
	1式	1. 外観点検	高	1F		16回施設設定検時に設置	
	1式	1. 外観点検	高	10Y		プラント運転中又は施設設定検停止中	
浸水防止蓋 堰、浸水防止堰、伝播防止堰 水密扉	1式	1. 外観点検	高	1Y		16回施設設定検時に設置	
	2台	1. 機能・性能試験	高	1F~4F	計測制御系監視機能検査	計測制御系監視機能検査 は、17回施設設定検から実施	
			高				

機器又は系統名	実施数 (機器名)		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
その他発電原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	津波監視カメラ	2台	1. 機能・性能試験 1. 機能・性能試験	高 低	1F B*	浸水防護設備検査	16回施設設定検時に設置 B*：取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ 16回施設設定検から設定
	B湧水サンプポンプ・電動機		2. 取替 1. 機能・性能試験	低	5Y B*	浸水防護設備検査	B*：取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設設定 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ 16回施設設定検から設定
その他発電原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	その他発電原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、 17回施設設定検から設定
			2. 分解点検				
	その他発電原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の機器	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、 17回施設設定検から設定
			2. 分解点検				
その他発電原子炉の附属施設 [補機駆動用燃料設備]	軽油ドラム缶	106個	1. 外観点検	高	6M		16回施設設定検時に設置 プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置
			1. 外観点検				
その他発電原子炉の附属施設 [非常用取水設備]	貯水堰	1式	1. 外観点検	高	2Y		プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置
			1. 外観点検				
土木建築設備	海水ポンプ室	1式	1. 外観点検	高	1Y		プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置
			1. 外観点検				
	原子炉建屋 (格納容器内壁)	1式	1. 外観点検	高	1F		施設設定検停止中 プラント運転中又は施設設定 検停止中
			1. 外観点検				
プラント総合 全廠機器	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1式	1. 総合性能試験	高	1F	総合負荷性能検査	施設設定検起動後 プラント運転中又は施設設定 検停止中
			1. 分解点検				
				低	6M~168M		プラント運転中又は施設設定 検停止中

別図

## 施設定期検査時の安全管理の計画





# 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		燃料取出										燃料装荷			起動試験			起動前弁点検			V並列
RCS水位		V解列 RCS降温										R/V開放			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	5-1	4	5-1	4	3	V並列				
出の防止機能	原子炉キャビティ水位	モード5、6	<p>器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ水抜きによりモード6(低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器ハットが全ポートで閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合に閉止することを許可する。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)</li> <li>・1次冷却材ポンプ停止中での余熱除去システムによる冷却時、加圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10~30%の範囲内にある場合。</li> <li>・原子炉キャビティ水位がE L32.2m以上である場合。</li> <li>・各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能(閉止状態であることを含む)</li> <li>・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること(閉止状態であることを含む)、隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に閉止することが許可される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉格納容器機器ハット</li> <li>・原子炉格納容器エアロツク</li> <li>・原子炉格納容器隔離弁</li> <li>・原子炉格納容器ハウジング</li> </ul>																	
原子炉停止後除熱機能	第9条 使用済燃料ピットの水 位および水温 第37条 1次冷却系	全モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済燃料ピット水位：E L32.2m以上(照済燃料の移動を行っていない場合は適用しない)</li> <li>・使用済燃料ピット水温：65℃以下</li> <li>・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第90条(表90-8)の運転上の制限も確認、</li> <li>・制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系をシステム以上が運転中</li> <li>・制御棒の引抜き操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系をシステム以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済燃料ピット冷却系</li> <li>・蒸気発生器</li> <li>・1次冷却材系統</li> <li>・1次冷却材ポンプ</li> </ul>																	
	第38条 1次冷却系	モード4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・余熱除去系(動作不能時は、第90条(表90-4)の運転上の制限も確認)または蒸気発生器による熱除去系(動作不能時は、第90条(表90-8)の運転上の制限も確認)のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去系統</li> <li>・蒸気発生器</li> <li>・1次冷却材系統</li> <li>・1次冷却材ポンプ</li> </ul>																	
	第39条 1次冷却系	モード5-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・余熱除去系(余熱除去系が動作不能時は、第90条(表90-4)の運転上の制限も確認)1系統が運転中(計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去系統</li> <li>・蒸気発生器</li> <li>・1次冷却材系統</li> </ul>																	

# 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		▽解列 RCS降温										燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列			
		R/V開放										1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	4	5-1	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	4	5-1	4	5-1	3	
RCS水位		キャビティ排水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー																						
第40条 1次冷却系		モード5-2	画的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位（狭域）が計器スハンの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容） ・他の余熱除去が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位（狭域）が計器スハンの5%以上であること（計画的にモード4に加熱する場合、蒸気発生器1基以上の水位（狭域）が計器スハンの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許容） ・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中（1次冷却材ポンプによる1次冷却系空気抜きを行う場合は2時間に限り全ての余熱除去系を隔離することを許容） ・ポンプの切替を行う場合は、a, b, cの全てを満足させることを条件に15分に限り全ての余熱除去ポンプを停止することを許容。 a. 炉心出口温度が飽和温度より5.6℃以上下回るように維持されていること。 b. 1次冷却材中のほう素濃度が低下する操作が行われていないこと。 c. 1次冷却系水層低下につながる操作が行われていないこと。 ・余熱除去ポンプを用いて1次冷却系の水張りを行っている場合は余熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に1系統を隔離することを許容） ・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）1系統以上運転中（1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に8時間あたり1時間に限り余熱除去ポンプを停止することを許容） ・1次冷却材温度65℃以下																					
第41条 1次冷却系		モード6-2	・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）1系統以上運転中（1次冷却材中のほう素濃度を低下させる操作を行わないことを条件に8時間あたり1時間に限り余熱除去ポンプを停止することを許容） ・1次冷却材温度65℃以下																					
第42条 1次冷却系		モード6-1	・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）2系統動作可能であり、そのうち1系統以上運転中（キャビティ水張りおよび水抜きを行っている場合は余熱除去系への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に1系統を隔離することを許容） ・1次冷却材温度65℃以下																					
第67条 主蒸気安全弁		モード3（原子炉起動時のモード3から主蒸気安全弁機	・主蒸気安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に下記の個数以上動作可																					



# 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		▽解列 RCS降温											燃料取出			燃料装荷			起動試験			起動前弁点検			▽並列		
RCS水位		R/V開放											1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			起動試験			調整運転		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3					
原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	第36条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	モード3、4	通常の1次冷却系の加熱・冷却時(原子炉起動、原子炉停止(異常時を除く)、1次冷却系の耐圧・漏えい検査および安全注入系遮止弁漏えい検査のための昇温、降温操作開始から終了まで)	0条(表90-4の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合2時間に限り適用しない) ・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系または充てん系1系統以上が動作可能(動作不能時は、第90条(表90-3および表90-4)の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合2時間に限り適用しない)。 ・低圧注入系1系統以上が動作可能(動作不能時は、第90条(表90-4)の運転上の制限も確認、弁開閉点検を行う場合2時間に限り適用しない)。 ・燃料取替用水ピットは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・燃料取替用水ピットは、素温度2800ppm以上 ・燃料取替用水ピットは、酸水量(有効水量)1860m <sup>3</sup> 以上 ・燃料取替用水タンクが運転上の制限を逸脱した場合 は、第90条(表90-14)の運転上の制限も確認 ・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度、圧力の制限範囲内 ・1次冷却材温度変化率(原子炉容器):55℃/h以下 ・1次冷却材温度変化率(加圧器)加熱時:55℃/h以下 ・1次冷却材温度変化率(加圧器)冷却時:110℃/h以下	高圧注入系 ・充てん系 ・低圧注入系																						
第43条 加圧器	第43条 加圧器	モード3	加圧器水位が計器スパンの94%以下 ・所内非常用母線から受電している加圧器ヒータ系統が動作可能	加圧器 ・加圧器ヒータ	x																						
第44条 加圧器安全弁	第44条 加圧器安全弁	モード3、4(1次冷却材温度130℃超)	加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器安全弁全てが動作可能	加圧器安全弁	x	△																					
第45条 加圧器逃がし弁	第45条 加圧器逃がし弁	モード3	加圧器逃がし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器逃がし弁全てが動作可能(動作不能時は、第90条(表90-3)の運転上の制限も確認) ・加圧器逃がし弁弁元弁全てが動作可能	加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁弁元弁 ・加圧器安全弁 ・高圧注入ポンプ ・蓄圧タンク出口隔離弁	x																						
第46条 低温高圧防護	第46条 低温高圧防護	モード4(1次冷却材温度130℃以下ただし加圧器逃がし弁が低圧設定になるまで(原子炉容器のふたが開められている場合))	2台の加圧器逃がし弁弁元弁が閉状態、または1台以上の加圧器安全弁が取り外されている。 および ・動作可能な高圧注入ポンプが1台以下 および ・蓄圧タンクが全基隔離されていること(1次冷却系の水張りを行う場合、1基毎に隔離を解除することを許容。蓄圧タンク出口弁の開閉確認を行う場合、蓄圧タンク	加圧器逃がし弁 ・加圧器逃がし弁弁元弁 ・加圧器安全弁 ・高圧注入ポンプ ・蓄圧タンク出口隔離弁		△	x	x	△																		

# 施設定期検査時の安全管理の計画

(6/25)

主要工程		V並列 RCS降温										V並列							
RCS水位		燃料取出										燃料装荷							
RCS水位		R/V開放										R/V組立							
RCS水位		1次系ポンプ他点検										RCS漏えい検査							
RCS水位		モータ外										起動前弁点検							
RCS水位		モータ3、4										起動試験							
RCS水位		モータ3、4										調整運転							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
工学的な安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	第47条 1次冷却材漏えい率	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンビット漏えい検出装置によって測定される未確認の漏えい率：0.23m<sup>3</sup>/h以下（炉内計装用シンプル配管室ドレンビット漏えい検出装置によって測定される漏えい率は全て未確認の漏えい率とみなす）</li> <li>原子炉格納容器サンプ水位計によって測定される原子炉冷却材圧力カバウンダリ以外からの漏えい率：2.3m<sup>3</sup>/h以下</li> <li>原子炉格納容器サンプ水位計および炉内計装用シンプル配管室ドレンビット漏えい検出装置が動作可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却材系統</li> <li>原子炉格納容器サンプ水位計</li> <li>炉内計装用シンプル配管室ドレンビット漏えい検出装置</li> </ul>	x	x								x	x				
	第48条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器細管に漏えいがないこと</li> <li>蒸気発生器細管漏えい監視装置（蒸気発生器ブローダウン水モータ）が動作可能（ブランク状態により監視ができない場合、洗浄中を除く）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器細管</li> <li>蒸気発生器ブローダウン水モータ</li> </ul>	x	x								x	x				
	第49条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4（余熱除去系隔離が閉じている場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと（余熱除去系の蒸がし弁が作動していないこと）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>余熱除去系隔離弁</li> <li>余熱除去系蒸がし弁</li> </ul>	x	△								△	△			x	
	第34条 計測および制御設備（原子炉保護計装）	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が閉じ、制御棒の引き抜きが行える場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉保護系論理回路：4系統</li> <li>手動原子炉トリップ：2チャンネル</li> <li>中性子源領域中性子束高：2チャンネル（「中間領域中性子束高」2チャンネルが動作可能であることを条件に、P-6リセット時には、2チャンネルをバイパスすることを許容。「中性子源領域炉停止時中性子束高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをバイパスすることを許容。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉保護計装</li> <li>左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
工学的な安全施設計測および制御設備（工学的な安全施設等作動計装）	第34条	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が開放されている場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		モード6（原子炉格納容器内の燃料移動中でない場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>															
		モード6（原子炉格納容器内の燃料移動中の場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>															
	第34条	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用炉心冷却系作動論理回路：2系統<sup>*</sup>1</li> <li>（非常用炉心冷却系）手動起動：2チャンネル</li> <li>原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路：2系統<sup>*</sup>1</li> <li>（原子炉格納容器スプレイ系・原子炉格納容器隔離B・格納容器換気空調隔離）手動起動：4チャンネル</li> <li>原子炉格納容器隔離A作動論理回路：2系統<sup>*</sup>1</li> <li>（原子炉格納容器隔離A・格納容器換気空調隔離）手動起動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用炉心冷却系作動計装</li> <li>原子炉格納容器スプレイ系作動計装</li> <li>原子炉格納容器隔離A作動計装</li> <li>原子炉格納容器隔離B作動計装</li> </ul>	x	x							x	x				x	





# 施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程		▽解列 RCS降温											燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列										
RCS水位		R/V開放											1次系ポンプ他点検			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転										
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	5-1	4	5-1	4	3	4	5-1	4	3	調整運転			
第80条 ディーゼル発電機	第80条 ディーゼル発電機	モード5、6およびモード外	<p>時間は適用しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>ディーゼル発電機2基が動作可能であること(ディーゼル発電機が動作不能時は、第90条(表90-15)の運転上の制限も確認する。ディーゼル発電機の予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない)(ディーゼル発電機には非常用発電機(所要の電力供給が可能なものを用い、複数の号炉で共用することができる)1基を含める)1基を含めることができる)</li> <li>上記ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンク貯油量(保有油量): 0.95m<sup>3</sup>以上(ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は適用しない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電機</li> <li>非常用発電機(運用を開始するまでは、所要の電力供給が可能な、他の号炉のディーゼル発電機または移動式発電装置を非常用発電機とみなす)</li> <li>燃料油サービスタンク</li> </ul>			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x									
第81条 ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油および始動用空気	第81条 ディーゼル発電機の燃料油、潤滑油および始動用空気	モード3、4、5、6およびモード外	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料貯蔵タンクおよび重油タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>所要のディーゼル発電機の燃料貯蔵タンクおよび重油タンクの合計油量(燃料貯蔵タンクの油量(保有油量)128m<sup>3</sup>以上を含む): 297m<sup>3</sup>以上※</li> <li>所要のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量(保有油量): 5.5m<sup>3</sup>以上※</li> <li>所要のディーゼル発電機の起動空気だめ圧力: 2.50Mpa [gagc]以上※</li> </ul> <p>(燃料貯蔵タンクおよび重油タンクの油量を確認する場合は、第90条(表90-15)の運転上の制限も確認する。)</p> <p>※2: 予備潤滑運転(ターニング、エアラン)を行う場合適用しない。ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は適用しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電機燃料貯蔵タンク</li> <li>ディーゼル発電機潤滑油タンク</li> <li>ディーゼル発電機起動空気だめ</li> </ul>			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x								
第82条 非常用直流通電源	第82条 非常用直流通電源	モード3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>非常用直流通電源2系統(蓄電池(安全防護系用)(蓄電池が動作不能時は、第90条(表90-15)の運転上の制限も確認)および充電器(充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能)が動作可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用直流通充電器</li> <li>非常用直流通蓄電池</li> </ul>			x																									
第83条 非常用直流通電源	第83条 非常用直流通電源	モード5、6および燃料移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>所要の設備の維持に必要な非常用直流通電源に接続する系統(蓄電池(安全防護系用)(蓄電池が動作不能時は、第90条(表90-15)の運転上の制限も確認)および充電器(充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能)が動作可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用直流通充電器</li> <li>非常用直流通蓄電池</li> </ul>			x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x								
第84条 所内非常用母線	第84条 所内非常用母線	モード3、4	<p>次の所内非常用母線が受電していること(電源の自動切替の間は適用しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの非常用高圧母線</li> <li>4つの非常用低圧母線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用高圧母線</li> <li>非常用低圧母線</li> <li>非常用直流通母線</li> <li>非常用計器用母線</li> </ul>			x																									



# 施設定期検査時の安全管理の計画

(10/25)

主要工程		▽解列 RCS 降温										燃料取出			燃料装荷			起動試験			▽並列			
RCS 水位		RCS 水位										R/V開放			R/V組立			RCS漏えい検査			調整運転			
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 つの非常用直流母線</li> <li>・ 4 つの非常用計器用母線</li> </ul>																					
	第 5 条 所内非常用母線	モード 5、6 および照射済燃料移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電していること（電源の自動切替の間は適用しない）</li> <li>・ 非常用直流母線</li> <li>・ 非常用高圧母線</li> <li>・ 非常用低圧母線</li> <li>・ 非常用直流母線</li> <li>・ 非常用計器用母線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常用高圧母線</li> <li>・ 非常用低圧母線</li> <li>・ 非常用直流母線</li> <li>・ 非常用計器用母線</li> </ul>																				
	第 7 条 原子炉補機冷却水系	モード 3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・ 原子炉補機冷却水系 2 系統が動作可能（原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第 9 0 条（表 9 0 - 7）の運転上の制限も確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水系</li> </ul>																				
	安全上特に重要な関連機能（海水系統他）	モード 3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・ 原子炉補機冷却海水系が動作可能（A 原子炉補機冷却海水系が動作不能時は第 9 0 条（表 9 0 - 7）の運転上の制限も確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却海水系</li> </ul>																				
	第 7 5 条 制御用空気系	モード 3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制御用空気圧力（母管圧力）：0.60MPa [gage] 以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制御用空気系</li> </ul>																				
	安全上特に重要な関連機能（制御用空気系）	モード 3、4 および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室非常用循環系作動論理回路：所要の中央制御室非常用循環系につき 2 系統</li> <li>・ (中央制御室非常用循環系) 手動起動：所要の中央制御室非常用循環系につき 2 チャンネル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室非常用循環系作動計装</li> <li>・ 左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>																				
	安全上特に重要な関連機能（制御室及びその連へい機空気調系）	モード 3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (中央制御室非常用循環系) 非常用炉心冷却系作動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記信号検出、伝送ライン</li> </ul>																				
	第 7 6 条 中央制御室非常用循環系	モード 3、4 および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室非常用循環系は、重大事故等対処設備を兼ねる。</li> <li>・ 中央制御室非常用循環系 2 系統以上動作可能（中央制御室あたり）（中央制御室非常用循環系が動作不能時は、第 9 0 条（表 9 0 - 1 7）の運転上の制限も確認）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室非常用循環系</li> </ul>																				
	制御室外からの安全停止機能	モード 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほう酸ポンプ</li> <li>・ 加圧器圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室外原子炉停止装置</li> </ul>																				
	第 3 4 条 制御および制御設備（中央制御室外原子炉停止装置）	モード 3、4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充てんポンプ</li> <li>・ 加圧器後備ヒータ</li> <li>・ 抽出水オリフィス確漏弁</li> <li>・ 海水ポンプ</li> <li>・ 原子炉補機冷却水ポンプ</li> <li>・ 電動補助給水ポンプ</li> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央制御室外原子炉停止装置</li> </ul>																				









# 施設定期検査時の安全管理の計画

(15/25)

主要工程		▽並列 RCS降温											▽並列			
主要工程		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前升点検		調整運転						
主要工程		R/V開放		R/V組立		R/V組立		RCS漏えい検査								
RCS 水位	キャビティ排水 RCS 海水 ミッドループ RCS 全ロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽解列 RCS降温</li> <li>燃料取出</li> <li>R/V開放</li> <li>燃料装荷</li> <li>R/V組立</li> <li>R/V組立</li> <li>RCS漏えい検査</li> <li>調整運転</li> </ul>														
	要求内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>可搬型格納容器水素ガス試験圧縮装置1台</li> <li>格納容器水素ガス試験冷却器1個</li> <li>格納容器水素ガス試験湿分分離器1個</li> <li>素素ポンベ(代替制御用空気供給用)10本(1セット10本(A系統5本、B系統5本))</li> <li>可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)2台(1セット2台(A系統1台、B系統1台))</li> <li>木容量ポンプ</li> <li>空冷式非常用発電装置</li> <li>燃料油貯蔵タンク</li> <li>重油タンク</li> <li>タンクローリー</li> </ul>														
保安規定条文	要求モード	1個ならびに素素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
第90条(表90-11-1) 海水から使用済燃料ピットの水素排出	モード3、4、5および6	<ul style="list-style-type: none"> <li>アニュラス空気浄化系の系統が動作可能(ファン手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)</li> <li>代替空気系統(動作可能なアニュラス空気浄化系)に接続可能な素素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能</li> </ul>														
第90条(表90-12-1) 海水から使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>送水車による海水から使用済燃料ピットへの注水系2系統動作可能</li> </ul>														
第90条(表90-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋外に配備する設備について2系統(1系統は屋外に配備する送水車1台)が動作可能</li> <li>使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋内に配備する設備について1系統(1系統は屋内に配備するスプレイヘッド4個(1セット2個、3号炉および4号炉共用の予備機2個を含む))が動作可能</li> </ul>														
第90条(表90-12-3) 使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済燃料ピット水位(A/M)用2個(動作可能な当該設備が所要数を満足しない場合において、可搬式使用済燃料ピット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制限を満足してはいないとはみなさない)</li> </ul>														

# 施設定期検査時の安全管理の計画

(16/25)

主要工程		△解列 RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 起動試験 起動前弁点検 △並列 調整運転														
RCS水位		キャビティ排水 RCS排水 ミッドループ RCS全ブロー														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-1	5-1	4	5-1	4	3
			・使用済燃料ピット温度(AM用)2個 ・使用済燃料ピット監視カメラ(使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置を含む)2個(使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は1個) ・可搬式使用済燃料ピット水位2個 ・可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ2個 ・軽油ドラム缶1台による燃料補給設備:20214 リットル以上(3号炉および4号炉の合計)													
第90条 (表90-12-4) 軽油ドラム缶による燃料補給設備	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・大容量ポンプおよび放水砲による放水系1系統(大容量ポンプ3台(予備機1台含む)、放水砲3台(予備機1台含む)および泡混合器1台)動作可能 ・大容量ポンプおよび放水砲による放水系1系統(大容量ポンプ3台(予備機1台含む)、放水砲3台(予備機1台含む)および泡混合器1台)動作可能													
第90条 (表90-13-1) 大気への拡散抑制、真空機燃料火災への泡消火	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・シルトファンズ:2組(3号炉及び4号炉合計所要数) 取水機側: 高さ約 7m/幅約 35m (幅約 20m/本を1本、幅 15m/本を1本として2組)) 高さ約 7m/幅約 10m (幅約 10m/本を1本として2組)) 放水機側 高さ約 12m/幅約 5.4m (幅約 5.4m/本を2本として2組) 高さ約 12m/幅約 5.8m (幅約 5.8m/本を2本として2組))													
第90条 (表90-14-1) 海水を用いた復水ピットへの補給	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・海水を用いた復水ピットへの補給系を系統動作可能 ・送水車1台×2 ・軽油ドラム缶													
第90条 (表90-14-2) 燃料取替用水ピット	モード3、4、5および6(キャビティ低水位)	モード3、4、5および6(キャビティ低水位)	・ほう素濃度:2800ppm以上であること ・ほう素水量(有効水量):1,860m <sup>3</sup> 以上であること(原子炉キャビティ水張り、水抜き期間においては第90条に定める水源および炉心注入手段等が確保されていることを条件に運転上の制限を満足してはならない)なお、原子炉キャビティ水張り期間は、原子炉キャビティ水張り作業開始から水張り完了までの期間を、また、原子炉キャビティ水抜き期間とは、原子炉キャビティ水抜き作業開始から燃料取替用水ピット水位を回復するまでの期間をいう)													
第90条 (表90-14-3)	モード3、4、5および6	モード3、4、5および6	・復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給系が使用可能 ・1,035m <sup>3</sup> 以上であること													















# 施設定期検査時の安全管理の計画

(23/25)

主要工程		△解列 RCS降温 R/V開放 燃料取出 燃料装置 起動試験 起動前升点検 △並列 調整運転																	
RCS水位		1次系ポンプ他点検 R/V組立 RCS漏えい検査																	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3		
第90条 (表90-17-1) 中央制御室	第90条 (表90-17-1) 中央制御室	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒットに燃料体を貯蔵している期間	・中央制御室あたり中央制御室非常用循環系1系統以上動作可能 (ファンが手動起動(系統構成含む)でき、または運転中) ・可搬型照明(SA)、酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央制御室非常用循環ファン1台</li> <li>中央制御室空調ファン1台</li> <li>中央制御室循環ファン1台</li> <li>中央制御室非常用循環フィルタユニット1基</li> <li>可搬型照明(SA)8個(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>酸素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>二酸化炭素濃度計1個(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>空冷式非常用発電装置</li> <li>燃料油貯蔵タンク</li> <li>重油タンク</li> <li>タンクローリー</li> </ul>	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	第90条 (表90-18-1) 監視測定装置	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒットに燃料体を貯蔵している期間	[放射性物質の濃度および放射線量の測定] ・可搬式モニタリングホスト:17個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備6個を含む) ・電離箱サーベイメータ:3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) (可搬型放射線計測装置) ・可搬式ダストサンブラ:3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・汚染サーベイメータ:3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・NaIシンチレーションサーベイメータ:3個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・ZnSシンチレーションサーベイメータ:2個(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) ・小型船舶:2台(3号炉および4号炉の合計所要数、予備1個を含む) [風向、風速その他の気象条件の測定] ・可搬式気象観測装置:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・電源車(緊急時対策所用):2台動作可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>[放射性物質の濃度および放射線量の測定]</li> <li>可搬式モニタリングホスト</li> <li>電離箱サーベイメータ</li> <li>可搬式ダストサンブラ</li> <li>汚染サーベイメータ</li> <li>NaIシンチレーションサーベイメータ</li> <li>ZnSシンチレーションサーベイメータ</li> <li>小型船舶</li> <li>[風向、風速その他の気象条件の測定]</li> <li>可搬式気象観測装置</li> </ul>	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代替電源設備からの給電	第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代替電源設備からの給電	モード3、4、5、6および使用済燃料ヒットに燃料体を貯蔵している期間	・電源車(緊急時対策所用)1台×2(緊急時対策所あたり) の合計数 ・空冷式非常用発電装置(3号炉および4号炉のいずれか1系統要求) ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	

# 施設定期検査時の安全管理の計画

(24/25)

主要工程		▽並列 RCS 降温												▽並列	
		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		起動試験		調整運転			
		R/V開放		R/V組立		RCS漏えい検査		R/V組立		RCS漏えい検査		調整運転			
RCS 水位		キャビティ排水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全ブロー													
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	4	5-1	4	3
第90条 (表90-19-2) 緊急時対策所 居住性の確保	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時対策所空気浄化系1系統(緊急時対策所可搬型空気浄化ファン)および緊急時対策所可搬型空気浄化ファン2基)動作可能</li> <li>空気供給装置の所要数(600本)緊急時対策所(指揮所および特機所)あたりの合計)が使用可能</li> <li>酸素濃度計(2個)(緊急時対策所(指揮所)および特機所)あたりの合計)および二酸化炭素濃度計(2個)(緊急時対策所(指揮所)および特機所)あたりの合計)の所要数が動作可能</li> <li>緊急時対策所内可搬型エリアモニタ(2個)(緊急時対策所(指揮所)および特機所)あたりの合計、緊急時対策所外可搬型エリアモニタ(1個)および可搬式モニタリングホストの所要数が動作可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時対策所可搬型空気浄化ファン</li> <li>緊急時対策所可搬型空気浄化ファン2ユニット</li> <li>空気供給装置</li> <li>酸素濃度計</li> <li>二酸化炭素濃度計</li> <li>緊急時対策所内可搬型エリアモニタ</li> <li>緊急時対策所外可搬型エリアモニタ</li> <li>可搬式モニタリングホスト</li> </ul>			x	x	x	x	x	x	x	x	
第90条 (表90-20-1) 通信連絡	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星電話(固定):6台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>衛星電話(携帯):9台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>トランシーバー:1台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>トランシーバー:29台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>携帯型通話装置:24台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> <li>インターフォン:4台(3号炉および4号炉の合計所要数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星電話(固定)</li> <li>衛星電話(携帯)</li> <li>衛星電話(可搬)</li> <li>トランシーバー</li> <li>携帯型通話装置</li> <li>インターフォン</li> <li>安全パラメータ表示システム(SPDS)</li> <li>安全パラメータ伝送システム</li> </ul>											





## 計画期間中における点検の実施状況等

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/51
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/51
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/51
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	20/51
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/51
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	27/51
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
[生体遮蔽装置]	
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	35/51
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	41/51
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	41/51
[その他設備]	
蒸気タービン	42/51
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	47/51
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
[補機駆動用燃料設備]	
[非常用取水設備]	
土木建築設備	51/51
プラント総合	51/51
全般機器	51/51

別紙ー1: クラス1機器供用期間中検査10年計画

別紙ー2: クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙ー3: クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙ー4: クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別紙ー5: クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査10年計画

別紙ー6: 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙ー7: 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙ー8: 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

## 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術) ※: 炉心設計による ※: 炉心設計による	
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体	※ 1式	高	1F	○	16回	燃料集合体外観検査		
	照射済燃料集合体 (取出燃料)	※ 1式	高	1F	○	16回	燃料集合体外観検査		
	燃料集合体	193体	高	1F	○	16回	燃料集合体炉内配置検査		
原子炉本体 [原子炉容器]	内挿物 ・制御棒クラスター ・バーナブルポイズン ・シンブルプラグアセンブリ ・2次中性子源	※ 1式	高	1F	○	16回	燃料集合体炉内配置検査	※: 炉心設計による	
	原子炉本体のうち炉心		高	1F	○	16回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	施設定検起動後	
原子炉本体 [原子炉容器]	原子炉容器		高	1F	○	16回			
	原子炉容器		高	1F	○	16回			
	原子炉容器	116箇所	高	3F	—	16回	構造健全性検査		
	燃料移送装置	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱装置機能検査		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取扱クレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
		燃料取扱クレーン	1台	高	26M	—	16回		
		燃料取扱クレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱装置機能検査	
	新燃料エレベータ	使用済燃料ピットクレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
		使用済燃料ピットクレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
		使用済燃料ピットクレーン	1台	高	26M	—	16回		
	補助建屋クレーン	補助建屋クレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査	先行実施
		補助建屋クレーン	1台	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	
補助建屋クレーン		1台	高	1Y	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	年次点検 プラント運転中又は施設定検 検停止中	
新燃料取扱工具	新燃料取扱工具	1台	低	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
	使用済燃料取扱工具	1台	低	1F	○	16回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料仮置ラック	1. 外観点検	高	1F	○	16回	燃料取扱設備検査(動作・インテグレーション試験等)		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵設備]	使用済燃料ピット温度	1. 特性試験	高	13M	○	16回	計測制御系監視機能検査	
		使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	16回	計測制御系監視機能検査	
		可搬式使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置
		使用済燃料ピット温度(AM用)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査	16回施設設定検時に設置
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	使用済燃料ピット水位(AM用)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査	16回施設設定検時に設置
		使用済燃料ピット監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		16回施設設定検時に設置
		使用済燃料ピット監視カメラ設置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設設定検時に設置
		使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	16回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
A 使用済燃料ピットポンプ・電動機			1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	15回		(振動診断: 6M) 先行実施
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	16回		
	3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)			26M	○	16回			
B 使用済燃料ピットポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	91M	—	15回		(振動診断: 6M) 先行実施	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置	
		2. 外観点検		1Y	○	—			
大容量ポンプ(放水砲用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定 検停止中 16回施設設定検時に設置	
		2. 分解点検		10Y	—	—			
A 使用済燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	○	9回		先行実施	
		1. 開放点検	高	130M	—	16回		先行実施	
		1. 開放点検	高	195M	—	9回		1次系熱交換器検査 先行実施	
A 使用済燃料ピット冷却器		2. 非破壊試験	高	195M	—	9回		有効性評価 No. 1 の反映	
		3. 漏えい試験		195M	—	9回			
		1. 開放点検	高	195M	—	16回		1次系熱交換器検査 先行実施	
B 使用済燃料ピット冷却器		2. 非破壊試験	高	195M	—	16回		有効性評価 No. 1 の反映	
		3. 漏えい試験		195M	—	16回			
		1. 開放点検	高	130M	○	—	—	*: H13年度に設置 先行実施	
C 使用済燃料ピット冷却器		2. 漏えい試験		130M	○	—			
				130M	○	—			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)										
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1式	高・低	B 104M~130M 130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査	一部先行実施										
									1.機能・性能試験									
									2.分解点検									
									3.簡易点検 (グラウンドパッキン取替)									
									1.分解点検他									
									核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)	
																		1.機能・性能試験
																		2.分解点検 (ポンプ)
																		3.分解点検 (電動機)
									核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)	
1.機能・性能試験																		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1式	高	B*	-	16回	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)										
									1.機能・性能試験									

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	高	26M	—	16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1次側	高	13M	○	16回	I 次系熱交換器検査	
		2次側	高	13M	○	16回		
				13M	○	16回		
		マンホール	高	13M	○	16回		
			高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
	B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	高	13M	○	16回	1次系熱交換器検査	
		1次側	高	13M	○	16回		
		2次側	高	13M	○	16回		
				13M	○	16回		
		マンホール	高	13M	○	16回		
			高	26M	—	16回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	高	13M	○	16回	1次系熱交換器検査		
	1次側	高	13M	○	16回			
	2次側	高	13M	○	16回			
			13M	○	16回			
	マンホール	高	13M	○	16回			
		高	26M	—	16回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本	高	13M	○	16回	1次系熱交換器検査		
	1次側	高	13M	○	16回			
	2次側	高	13M	○	16回			
			13M	○	16回			
	マンホール	高	13M	○	16回			
		高	26M	○	15回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
加圧器	マンホール	高	13M	○	16回	1次系熱交換器検査		
		高	13M	○	16回			
		高	13M	○	16回			
		高	13M	○	16回			
		高	13M	○	16回			
		高	13M	○	16回			
加圧器安全弁	3個	高	13M	○	16回	加圧器安全弁機能検査		
	3V-RC-055	高	1F	○	16回	加圧器安全弁漏えい検査		
	3V-RC-056	高	B	○	16回	加圧器安全弁漏えい検査		
	3V-RC-057	高	13M	○	16回	加圧器安全弁分解検査		
		高	13M	○	16回			
		高	13M	○	16回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	加圧器逃がし弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	16回	加圧器逃がし弁機能検査	
		2. 漏えい試験		1F	○	16回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	3. 分解点検	高	26M	—	16回	加圧器逃がし弁分解検査	
		1. 分解点検		26M	—	16回		
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	16回		
	加圧器逃がし弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	16回	加圧器逃がし弁機能検査	
		2. 漏えい試験		1F	○	16回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	○	16回	加圧器逃がし弁分解検査	
	加圧器逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	26M	○	16回		
		2. 簡易点検 (特性点検)		26M	○	16回		
		3. 分解点検		13M	○	16回		
	加圧器逃がし弁前弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	16回	加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	16回		
	加圧器逃がし弁前弁駆動部	1. 分解点検	高	130M	—	13回		
		1. 分解点検		130M	—	14回		
		1. 分解点検		78M	—	16回		
	A I 次冷却材ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	13M~78M	○	16回	
2. 簡易点検 (特性点検)			1F		○	16回	I 次冷却材ポンプ機能検査	
2. 分解点検 (ポンプ)			130M		○	9回		
3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))			13M		○	16回	I 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
4. 分解点検 (フライホイール (電動機))			104M		—	11回		
5. 分解点検 (軸受分解 (電動機))			52M		—	15回		
6. 分解点検 (全分解 (電動機))			104M		—	11回		
7. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))	26M	○	15回					

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術後
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ) 4. 分解点検 (フライホイール) (電動機) 5. 分解点検 (軸受分解) (電動機) 6. 分解点検 (全分解) (電動機) 7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	1F 130M 13M 104M 52M 104M 26M	○ — ○ — — — —	16回 8回 16回 12回 16回 16回 16回	1 次冷却材ポンプ機能検査 1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部施設設定検起動後 一部先行実施
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ) 4. 分解点検 (フライホイール) (電動機) 5. 分解点検 (軸受分解) (電動機) 6. 分解点検 (全分解) (電動機) 7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	1F 130M 13M 104M 52M 104M 26M	○ — ○ ○ ○ ○ ○	16回 9回 16回 9回 13回 9回 15回	1 次冷却材ポンプ機能検査 1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部施設設定検起動後 一部先行実施



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 一部施設定検起動後		
									高	1F
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	D I次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	I次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後		
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	16回				
		3. 分解点検 (メカニカルシール (ポンプ))		13M	○	16回			I次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール (電動機))		104M	—	10回				
		5. 分解点検 (軸受分解 (電動機))		52M	—	14回				
		6. 分解点検 (全分解 (電動機))		104M	—	10回				
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	—	16回				
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式 その他の弁	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	I次系弁検査			
		2. 分解点検	高	52M~260M	○	16回				
		3. 分解点検	低	78M~130M	○	16回			I次系弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 (クランパットパッキン取替)	高・低	39M~130M	○	16回				
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式 その他の弁駆動部	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	I次系弁検査			
		2. 分解点検		26M~65M	○	16回				
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~65M	○	16回				
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式 その他機器	原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] 1式	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	16回				
		2. 分解点検他	低	13M~65M	○	16回				

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁 20個 B, D系 3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-526D 3V-MS-527D 3V-MS-528D 3V-MS-529D 3V-MS-530D	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	主蒸気安全弁機能検査			
		1. 漏えい試験	高	B	○	16回	主蒸気安全弁漏えい検査			
		2. 分解点検		26M	○	16回				
		A, C系 3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-526C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-530C	1. 漏えい試験	高	B	—	16回	主蒸気安全弁漏えい検査		
			2. 分解点検		26M	—	16回			
			主蒸気逃がし弁 4個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	16回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設 備作動検査	最終ヒートシンク熱輸送設 備作動検査は、16回施設 検から設定
				1. 漏えい試験	高	B	○	16回	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		主蒸気逃がし弁駆動部	3PCV-3610 3PCV-3620 3PCV-3630 3PCV-3640	2. 分解点検		13M	○	16回		
				1. 分解点検	高	52M	○	16回		
			主蒸気隔離弁	2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	16回		
	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)			高	1F	○	16回	主蒸気隔離弁機能検査		
	主蒸気隔離弁駆動部	4個 3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C 3V-MS-533D	1. 分解点検	高	39M	○	14回	2次系弁検査		
			1. 分解点検	高	39M	—	15回	2次系弁検査		
		タービンバイパス弁	1. 分解点検	高	39M	—	16回	2次系弁検査		
			1. 分解点検	高	39M	—	15回	2次系弁検査		
	タービンバイパス弁駆動部	15個	1. 分解点検	高	39M	○	16回			
			2. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	16回			
		タービンバイパス弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	16回	タービンバイパス弁機能検査		
			2. 分解点検		26M	○	16回			
	タービンバイパス弁駆動部		1. 分解点検	高	52M	○	16回			
2. 簡易点検 (特性点検)				13M	○	16回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		26M~260M	○	16回	2次系弁検査	
		3. 簡易点検 (グラブドパッキン取替)		52M~130M	○	16回		
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	2次系弁検査	
		2. 分解点検		26M~182M	○	16回		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回		
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] 1式 他の機器	1. 分解点検他	高 低	13M~104M	○	16回			
	2. 分解点検他		13M~104M	○	16回			
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	16回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定検 から設定
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	16回		
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替 ポンプ)		78M	○	16回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M	○	16回		
		6. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)		26M	—	16回		
	B 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	15回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 3 M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定検 から設定
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	14回		
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替 ポンプ)		78M	—	16回		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M	○	16回		
		6. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)		26M	○	16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解放査	その他原子炉注水系主要弁 分解放査は、16回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解放査	その他原子炉注水系主要弁 分解放査は、16回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	130M	○	9回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解放査	その他原子炉注水系主要弁 分解放査は、16回施設定検 から設定
	A余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	7回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解放査	その他原子炉注水系主要弁 分解放査は、16回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁弁分 解検査	
	B余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	16回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	8回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	16回		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁	1. 開放点検	高	130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	11回	1次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M	—	11回		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M~260M	○	16回		
		3. 分解点検	低	130M	—	16回		一部BMあり
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁駆動部	4. 簡易点検 (グラウンドバッドキレン取 替)	高・低	65M~130M	○	16回			
	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査		
	2. 分解点検		52M~182M	○	16回			
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の機器	3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回			
	1. 分解点検他	高	13M~91M	○	16回			
その他AM(代替再循環) 機器	2. 分解点検他	低	65M~130M	○	16回			
	1. 分解点検他	高	130M~182M	—	15回	1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む)	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む)	高	1F	○	16回	非常用炉心冷却系機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・A, B 高圧注入ポンプ ・A, B 余熱除去ポンプ	
		2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態 監視等含む)		6M	○	プラント運転 中	運転中の主要機器機能検査 (状態監視含む)		
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・A, B 低圧注入系 ・A, B 高圧注入系 ・B 高圧注入系 (電動機海水 冷却) ・A, B, C 充てん系 ・B 充てん系 (電動機自己冷 却) 16回施設定検から設定	
				A 高圧注入ポンプ・電動機	130M	—	12回		非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査
	B 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) (ポンプ) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	9M	—	15回			有効性評価 No. 21 の反映
				130M	—	16回			
				26M	—	16回			
				130M	—	13回	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	(振動診断: 3 M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、16回施設定検 から設定	
				91M	—	16回			
				130M	—	15回			
26M				○	16回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	恒設代替低圧注水係	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	—	その他原子炉注水係機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	16回施設設定検時に設置	
		1. 機能・性能試験 (漏えい試験)	高	1F	○	—		16回施設設定検時に設置	
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	その他原子炉注水係ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査		
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)	130M	—	—	—			
		1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 16回施設設定検時に設置	
		2. 分解点検 (ポンプ)	10Y	—	—	—			
	高圧注入系主要弁	3. 分解点検 (電動機)	130M	—	—	—			
		1. 分解点検	高	260M	—	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	
		1. 分解点検	高	130M	—	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	—	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査 その他原子炉注水係主要弁弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	
		1. 分解点検	高	260M	—	—	6回	非常用炉心冷却系主要弁弁分解検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部を含む)	高	1F	○	16回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	その他原子炉注水系機能検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	8回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	7回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	10回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設定検から設定

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁駆動部 A 蓄圧タンク B 蓄圧タンク C 蓄圧タンク D 蓄圧タンク 燃料取替用水ピット A、B格納容器再循環サンブ A、B格納容器再循環サンブ 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 他の弁 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 他の弁駆動部 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 1式 他の機器 充てんポンプ A 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	182M 13M~182M	— ○	16回 16回		
		1. 開放点検	高	130M	—	14回		
		1. 開放点検	高	130M	—	16回		
		1. 開放点検	高	130M	—	16回		
		1. 開放点検	高	130M	—	10回		
		1. 外観点検	高	1F	○	16回		
		1. 外観点検	高	1F	○	16回		
		1. 外観点検	高	1F	○	16回		
		2. 外観点検	高	10Y	—	—	15回施設設定検時に設置	
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回		原子炉格納容器再循環サンブ スクリーン検査
		2. 分解点検	高	65M~260M	○	16回		1次系弁検査 1次系安全弁検査
		3. 分解点検	低	78M~260M	—	16回		1次系弁検査 1次系逆止弁検査
		4. 簡易点検 (グラウンドバッキン取替)	高・低	78M~130M	○	16回		一部BMあり 有効性評価 No. 20 の反映
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 65M~182M	○ ○	16回 16回		1次系弁検査
3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回				
1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~91M 13M~130M	○ ○	16回 16回				
1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	○	16回		充てんポンプ冷却材補給系 機能検査		
1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	15回		他の原子炉注水水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系充てんポンプ 分解検査		
2. 分解点検 (電動機)		91M	—	16回				
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		26M	—	16回				
4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	—	16回				
5. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	16回				



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術					
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	15回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断: 6M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定から設定					
		2. 分解点検 (電動機)		91M	—	16回							
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替 (ポンプ))		26M	○	15回							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	16回							
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		13M	○	16回							
	C 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	65M	—	14回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(電動機 振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設設定から設定					
		2. 分解点検 (電動機)		104M	—	13回							
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	16回							
		1. 分解点検		高	130M	—			16回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査			
		1. 分解点検			130M	—			12回				
	その他原子炉注水系主要弁	3V-CS-155	高	130M	—	16回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、16回施設設定から設定					
		3V-CS-157							高	130M	—	12回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査
		3V-CS-164											
		3V-CS-166							高	130M	—	15回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査
		体積制御タンク											
	冷却材フィルタ	高	130M	—	11回								
	A 冷却材脱塩塔入口フィルタ						高	130M	—	15回			
	B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	高	130M	—	14回								
	A 封水注入フィルタ						高	130M	○	7回			
	B 封水注入フィルタ	高	130M	—	16回								
非再生冷却器	高						130M	—	16回	1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査			
		9回	16回										
					12回	12回							
封水冷却器	高	130M	—	12回			1次系熱交換器検査 1次系熱交換器検査						
					12回	12回							
									12回	12回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	余剰抽出水冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	16回			
		2. 非破壊試験		130M	—	8回			
		3. 漏えい試験		130M	—	16回			
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
		2. 分解点検	高	13M~260M	○	16回	1次系弁検査 1次系逆止弁検査		
		3. 分解点検	低	104M~130M	○	16回	1次系弁検査	一部BMあり	
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	4. 簡易点検 (グラウンドパッドキックン取替)	高・低	65M~130M	○	16回			
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M~182M	○	16回			
	原子炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他機器	3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回			
		1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回			
		2. 分解点検他	低	13M~130M	○	16回		一部BMあり	
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉補機冷却系 (冷却水系)	1. 機能・性能試験 (弁・弁駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉補機冷却系機能検査	
			A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	高	B*	○	16回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		52M	○	16回		
3. 分解点検 (電動機)				91M	—	15回			
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)				26M	○	16回			
B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	16回			
		1. 機能・性能試験	高	B*	—	16回	1次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	16回			
		3. 分解点検 (電動機)		91M	—	16回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	16回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	16回	I次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)		
		2. 分解点検 (ポンプ)		—	16回					
		3. 分解点検 (電動機)		—	14回					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		○	16回					
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		○	16回					
	D原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	—	16回	I次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断 : 6 M)		
		2. 分解点検 (ポンプ)		—	16回					
		3. 分解点検 (電動機)		—	16回					
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		○	16回					
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		○	16回					
	大容量ポンプ	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検査停止 16回施設設定検時に設置	
			2. 分解点検		10Y	—				
		格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備機能検査	16回施設設定検時に設置
				1. 開放点検		130M	—	10回		
				1. 分解点検		130M	—	14回		
原子炉補機冷却水サージタンク A原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	16回	I次系真空破壊弁検査	有効性評価 No. 2 の反映			
			2. 非破壊試験	13M	○			16回		
			3. 漏えい試験	13M	○			16回		
B原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	16回	I次系真空破壊弁検査				
			2. 非破壊試験	26M	○		16回			
			3. 漏えい試験	13M	○		16回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		130M～260M	○	16回	1次系安全弁検査		
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M～195M	○	16回	1次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M～182M	○	16回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	16回			
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却設備〕 他の機器	1. 分解点検他	高	65M～130M	○	16回			
		2. 分解点検他		13M～65M	○	16回			
		1. 分解点検他		13M～130M	○	16回			
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉補機冷却系統機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映
			2. 分解点検 (ポンプ)		B*	—	16回	2次系ポンプ機能検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M	—	16回	2次系ポンプ分解検査	
B 海水ポンプ・電動機		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替) (ポンプ)	高	104M	—	16回			
		1. 機能・性能試験		13M	○	16回			
		2. 分解点検 (ポンプ)		B*	—	16回	2次系ポンプ機能検査		
C 海水ポンプ・電動機		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	16回	2次系ポンプ分解検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映	
		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替) (ポンプ)		104M	—	16回			
		1. 機能・性能試験		13M	○	16回			
D 海水ポンプ・電動機		2. 分解点検 (ポンプ)	高	B*	—	16回	2次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映	
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	16回	2次系ポンプ分解検査		
		4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替) (ポンプ)		104M	—	16回			
E 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	13M	○	16回				
	2. 分解点検 (ポンプ)		B*	○	16回	2次系ポンプ機能検査			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	○	16回	2次系ポンプ分解検査			
F 海水ポンプ・電動機	4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替) (ポンプ)	高	104M	○	16回				
	1. 機能・性能試験		13M	○	16回				
	2. 分解点検 (ポンプ)		B*	○	16回	2次系ポンプ機能検査			
G 海水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)	高	52M	○	16回	2次系ポンプ分解検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施  有効性評価 No. 3 の反映		
	4. 簡易点検 (グラランドパッキン取替) (ポンプ)		104M	○	16回				
	1. 機能・性能試験		13M	○	16回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 13M~65M	○ 16回	16回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 78M	○ 16回	16回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 1式	3. 簡易点検 (特許点検)		13M~52M	○ 16回	16回		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] 1式	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M~65M 13M~52M	○ 16回	16回		一部BMあり
原子炉冷却系統施設 [原子炉格納容器内の一次冷却材の補えいを監視する装置]	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置 伝送器 2個	1. 特許試験	低	13M	○ 16回	16回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置 設定器 5個	2. 機能・性能試験	低	1F	○ 16回	16回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
	炉内計装用シンブル配管室ドレンピット検出器 2個	1. 機能・性能試験	高	1F	○ 16回	16回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	16回施設定検時に改造
	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動機、弁、弁駆動部等含む) 1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ) 4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	1F	○ 16回	16回	補助給水系機能検査	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	— 16回	16回	補助給水ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	— 16回	16回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	— 16回	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M	— 16回	16回		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	— 16回	16回	補助給水ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	— 14回	14回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	— 16回	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M	— 16回	16回		
	タービン動補給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	— 16回	16回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M)
		2. 分解点検		52M	— 16回	16回	補助給水ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		26M	○ 16回	16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] 計測制御系統施設 [制御材]	3 復水ピット 原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1. 外観点検	高	1F	○	16回	2次系弁検査 2次系弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	16回			
		2. 分解点検		78M~260M	○	16回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (グラブドバックキョウ 替)			130M	○	16回		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	16回	2次系弁検査		
		2. 分解点検		78M~182M	○	16回			
	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他機器	3. 簡易点検 (特許点検)			13M~182M	○	16回		
		1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回			
		1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
	計測制御系統施設 [制御棒駆動装置]	制御棒クラスタ パーナブルボイゾン	1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
			1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
			1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
シンブルアラーム		1. 外観点検	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による	
		1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	制御棒駆動系機能検査		
		2. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	制御棒クラスタ動作検査		
A 制御棒駆動装置MGセット		1. 分解点検	高	52M	—	16回		(振動診断：3 M)	
		2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	26M	—	16回			
		1. 分解点検	高	52M	—	16回		(振動診断：3 M)	
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]		B 制御棒駆動装置MGセット	2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	26M	○	16回		
			1. 分解点検	高・低	13M~39M	○	16回		
			1. 機能・性能試験	高	B*	—	16回	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3 M)
	A ほう酸ポンプ・電動機	2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	16回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	16回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
	B ほう酸ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	○	15回	ほう酸ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3 M)	
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	○	13回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	○	15回			
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M) 先行実施 B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M) 先行実施
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	3 4 A 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		
	3 4 B 1 次系補給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	1 次系ポンプ機能検査	B*:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 3M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回		
	A ほう酸タンク A ほう酸タンク真空逃がし弁 B ほう酸タンク B ほう酸タンク真空逃がし弁 3 4 A 1 次系純水タンク 3 4 A 1 次系純水タンクパキエムリリーブ弁 3 4 A 1 次系純水タンクアトモス弁 3 4 B 1 次系純水タンク 3 4 B 1 次系純水タンクパキエムリリーブ弁 3 4 B 1 次系純水タンクアトモス弁 ほう酸フィルタ 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁	1. 開放点検	高	130M	○	8回	1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査 1 次系真空破膜弁検査	先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施 先行実施
		1. 分解点検	高	130M	—	14回		
		1. 開放点検	高	130M	—	16回		
		1. 分解点検	高	130M	—	16回		
		1. 開放点検	高	130M	—	13回		
		1. 分解点検	高	130M	—	13回		
		1. 開放点検	高	130M	—	13回		
		1. 分解点検	高	130M	—	11回		
1. 開放点検		高	130M	—	11回			
1. 分解点検		高	130M	—	11回			
1. 開放点検		高	130M	—	16回			
1. 機能・性能試験		高・低	B	○	16回			
2. 分解点検	高	130M	○	16回				
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	A TWS 緩和設備 1式	1. 特性試験	高	13M	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査 重大事故時安全停止回路機能検査	16回施設設定検時に設置
		2. 機能・性能試験		1F	○	—		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機 2台	1. 機能・性能試験 (空気圧縮機、電動機等含む)	高	1F	○	16回	制御用空気圧縮機能検査	
		1. 分解点検 (圧縮機)	高	13M	○	16回		
	2. 分解点検 (電動機)	高	52M	○	16回			
	1. 分解点検 (圧縮機)	高	13M	○	16回			
B 制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検 (圧縮機)	高	52M	○	16回	(電動機 振動診断: 6M)	
		2. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	16回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	代替制御用空気供給設備	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		16回施設定検時に設置
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラブドバックスン取替)	高・低	B 13M~195M 130M	○ ○ ○	16回 16回 15回	1次系弁検査 1次系弁検査	
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高	B 13M~182M 13M~182M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系弁検査	有効性評価 No. 4 の反映
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性試験)	高 低	13M~78M 13M	○ ○	16回 16回		
	原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・パレミッシュアップロジック回路 原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 ・1次冷却材等計測装置 保護継電器 伝送器 設定器 ・核計測装置 設定器 重要な指示計器 ・1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	1. 機能・性能試験 1. 特性試験	高 高・低	1F 13M	○ ○	16回 16回	安全保護系機能検査 安全保護系設定値確認検査	
	事故時監視計器 ・圧力監視計器 ・水位監視計器 ・流量監視計器 ・温度監視計器	1. 特性試験	高	13M	○	16回	プラント状態監視設備機能検査	
事故時試料採取設備 格納容器系囲気ガス試料採取設備	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	プラント状態監視設備機能検査	
	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	計測制御系機能検査	一部施設定検起動後
	1式及び2次系計測制御装置	1. 特性試験 1. 特性試験	高・低 高	13M 13M	○ ○	16回 16回	計測制御系監視機能検査 核計測装置機能検査	一部施設定検起動後
炉外核計測装置 ・中性子領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1F 13M	○ ○	16回 16回	核計測装置機能検査	
	4台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	核計測装置機能検査	
	13M	1. 特性試験	高	13M	○	16回	制御棒位置指示装置設定値検査	
炉内核計測装置 駆動装置	4台	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	1F 13M	○ ○	16回 16回	核計測装置機能検査	
	13M	1. 特性試験	高	13M	○	16回	制御棒位置指示装置設定値検査	
	13M	1. 特性試験	高	13M	○	16回	制御棒位置指示装置設定値検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)	
計測制御系統施設 【その他設備】	炉内計装用シンブルチューブ	58本	高	78M	—	12回	炉内計装用シンブルチューブ 本体積検査		
	総合インターロック ・原子炉トリップ信号 (タービン、発電機トリップ) ・タービントリップ信号 (原子炉、発電機トリップ) ・発電機トリップ信号 (原子炉、タービントリップ)	1式	高	1F	○	16回	総合インターロック検査		
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	24回路	高	1F	○	16回	原子炉の停止制御回路健全 性確認検査		
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	原子炉水位	1個	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	AM用格納容器圧力	1個	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	プラント状態監視設備機能 検査は、17回施設設定検から 実施	
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	高	26M	○	16回	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置	
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライ ン圧力	2個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置	
	格納容器スプレイ積算流量	1個	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	原子炉格納容器水位	1対	高	1F	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	原子炉下部キャビティ水位	1対	高	1F	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	アニユラス水素濃度	2個	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能 検査	16回施設設定検時に設置	
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	高	1F	○	—	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	16回施設設定検時に設置	
	計測制御系統施設【その他設備】 その他の弁	1式	高・低	B	○	16回	1次系安全弁検査		
	放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理 設備】	ガス圧縮装置	1. 機能・性能試験	高	78M~260M	○	16回	1次系弁検査	一部BMあり
			2. 分解点検	低	65M~130M	○	16回	1次系逆止弁検査	
			3. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取 替)	低		○			
			1. 特性試験他	高	13M~52M	○	16回		
			2. 特性試験他	低	13M~78M	○	16回		一部BMあり
			1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回		気体廃棄物処理系機能検査
2. 分解点検他				13M~130M	○	16回		先行実施	
3. 分解点検 (電動機)				CBM	—	13回		(振動診断：1 2M) 先行実施	
1. 機能・性能試験			高	1F	○	16回		気体廃棄物処理系機能検査	
2. 分解点検				130M	○	16回		先行実施	
1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回		気体廃棄物処理系機能検査			
2. 分解点検		13M~130M	○	16回		先行実施			
1. 機能・性能試験	高	13M~130M	○	16回		先行実施			
2. 分解点検		13M~130M	○	16回		先行実施			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考		
								( ) 内は適用する設備	( ) 内は適用する設備 (診断技術)	
放射線廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	ほう酸回収装置	2基	低	1F	○	16回	液体廃棄物処理系機能検査		先行実施	
		2. 分解点検他								
	廃液蒸発装置	2基	低	1F	○	16回	液体廃棄物処理系機能検査		先行実施	
		1. 機能・性能試験								
	膜分離活性炭汚泥処理装置	1基	低	1F	○	16回	液体廃棄物処理系機能検査		先行実施	
										2. 分解点検他
	3 4 A 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	16回	気体廃棄物処理系設備検査		B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 (送風機)							
			3. 分解点検 (電動機)							
	3 4 B 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	16回	気体廃棄物処理系設備検査		B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 (送風機)							
			3. 分解点検 (電動機)							
	3 4 C 除湿塔冷却送風機・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	16回	気体廃棄物処理系設備検査		B* : 送風機または電動機の分解点検にあわせて実施 先行実施
			2. 分解点検 (送風機)							
			3. 分解点検 (電動機)							
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	16回	液体廃棄物処理系設備検査		B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
2. 分解点検 (ポンプ)										
3. 分解点検 (電動機)										
4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)										
B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	○	16回	液体廃棄物処理系設備検査		B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)								
		3. 分解点検 (電動機)								
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
放射能汚染物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回		
	3 4 B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回		
	3 4 A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		
	3 4 B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (ポンプ 振動診断 : 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回		
A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (水中ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	14回			
	3. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (水中ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回			
	3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施 B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施 B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施 B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	3 4 A ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回		
	3 4 B ほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		
	A 原子炉周辺建屋サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	14回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回		
B 原子炉周辺建屋サンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回			
	3. 分解点検 (電動機)		156M	—	14回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
3 4 A 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	16回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	16回			
	3. 分解点検 (電動機)		195M	—	16回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	16回			
3 4 B 洗浄排水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		195M	—	14回			
	3. 分解点検 (電動機)		195M	—	15回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	16回			
3 4 強酸ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	—	15回	液体廃棄物処理系設備検査	B* : ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断: 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	—	15回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えいに関する警報機能	1. 1式 1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M 1F	○ ○	16回 16回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能(最終の流入サンブ)	1. 1式 1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査(最終の流入サンブ)	先行実施
	雑固体焼却設備	1. 1台 1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	固体廃棄物処理系統却炉機能検査	先行実施
	乾燥造粒装置	1. 1式 2. 分解点検他 1. 機能・性能試験	低	13M~130M 1F	○ ○	16回 16回	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	有効性評価 No.23 の反映 先行実施
	セメントガラス固化装置	1. 1式 2. 分解点検他 1. 機能・性能試験	低	13M~156M 1F	○ ○	16回 16回	乾燥造粒装置・セメントガラス固化装置機能検査	先行実施
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1. 1式 2. 分解点検他 1. 機能・性能試験	低	13M~195M B	○ ○	16回 16回	1次系安全弁検査	有効性評価 No.22 の反映
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1. 1式 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラントドパッキン取替)	高 低	65M~130M 104M~130M 130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	一部BMあり
	放射性廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕 その他の機器	1. 1式 1. 機能・性能試験	高・低	B 65M~130M 13M~130M	○ ○ ○	16回 16回 16回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	一部先行実施 一部BMあり
	放射性廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	1. 1式 1. 特性試験 2. 機能・性能試験	低	13M 1F	○ ○	16回 16回	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施
	放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	1. 1式 1. 特性試験	高	13M	○	16回	エアモニタ機能検査
A格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)		1. 1式 1. 特性試験	高	13M	○	16回	エアモニタ機能検査	
B格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)		1. 1式 1. 特性試験	高	13M	○	16回	エアモニタ機能検査	
B格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)		1. 1式 1. 特性試験	高	13M	○	16回	エアモニタ機能検査	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A排気筒ガスマニタ	1. 1式 1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B排気筒ガスマニタ	2. 1式 1. 機能・性能試験	低	13M 1F	○ ○	16回 16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 1式 2. 特性試験		13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 1式 2. 特性試験		13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	廃棄物処理設備排水モニタ	34R-35	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	格納容器じんあいモニタ	3R-40	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	格納容器ガスモニタ	3R-41	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	復水器空気抽出器ガスモニタ	3R-43	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	建屋内漏えい検知ガスモニタ	34R-50	1. 特性試験	低	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	蒸気発生器プロダウンスモニタ	3R-55	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	原子炉補機冷却水モニタ	3R-56	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	補助蒸気復水モニタ	34R-57	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	タービン建屋床下ドレン集水モニタ	3R-58	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	A 高感度型主蒸気管モニタ	3R-65	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B 高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C 高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D 高感度型主蒸気管モニタ	3R-68	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	冷却材連続モニタ	3R-70	1. 特性試験	低	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	ほう酸蒸留水モニタ	34R-71	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	廃棄物処理設備排ガスモニタ	34R-72	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	種固体焼却炉排ガスモニタ	34R-73	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-80A	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-80B	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	A 主蒸気管モニタ	3R-87	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	B 主蒸気管モニタ	3R-88	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	C 主蒸気管モニタ	3R-89	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	D 主蒸気管モニタ	3R-90	1. 特性試験	高	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	放水口水モニタ	34R-99	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	IF 13M	16回 16回	放射線監視装置機能検査 放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	中央制御室エリアモニタ	34R-1	1. 機能・性能試験	低	IF	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	格納容器エアロクック区域エリアモニタ	3R-2	2. 特性試験	低	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
	放射化学室エリアモニタ	34R-3	1. 特性試験	低	13M	16回	放射線監視装置機能検査	一部先行実施

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	A 充てんポンプ室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	B 充てんポンプ室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	C 充てんポンプ室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニター	1. 特性試験	高	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	試料採取室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	ドラム詰室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	I 次系補機操作室エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	維固体固化処理エリアモニター	1. 特性試験	低	13M	○	16回	放射線監視装置機能検査	
	緊急時対策所外可搬型エリアモニター	1. 特性試験	低	1Y	○	—		プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定検時に設置
	緊急時対策所内可搬型エリアモニター	1. 特性試験	高	1Y	○	—		プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定検時に設置
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリア モニター	1. 特性試験	高	13M	○	—		放射線監視装置機能検査
放射線管理施設 [換気設備]	モニタリングステーション	1. 特性試験	低	13M	○	16回	野外モニター機能検査	1号機設備
	モニタリングポスト	1. 特性試験	低	13M	○	16回	野外モニター機能検査	1号機設備
	可搬式モニタリングポスト	1. 特性試験	高	1Y	○	—		プラント運転中又は施設定 検停止中 16回施設定検時に設置
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装 置] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M 13M	○ ○	16回 16回		
	中央制御室非常用循環系	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、ダン パ、ダンパ駆動部等含 む)	高	1F	○	16回	中央制御室非常用循環系機 能検査	
	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	91M	—	15回		(振動診断：3 M)
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回		
		1. 分解点検 (ファン)	高	91M	○	14回		(振動診断：3 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M	○	13回		
	中央制御室非常用循環フィルターユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルター)	高	1F	○	16回	中央制御室非常用循環系 フィルター性能検査	
		2. 開放点検 (フィルター取替)		X*	○	16回		X*：機能・性能試験結果 により適宜実施
		3. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	16回	I 次系換気空調設備検査	
	4. 開放点検		260M	○	9回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		B	—	8回		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	2回		(電動機 振動診断: 1 2 M)
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		B	—	7回		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	1回		(電動機 振動診断: 1 2 M)
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回		有効性評価 No. 5 の反映
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	2回		(振動診断: 1 2 M)
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回		(振動診断: 1 2 M)
		3. 分解点検 (電動機)		130M	○	1回		有効性評価 No. 5 の反映
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	16回		
B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	14回			
	3. 分解点検 (電動機)		65M	—	14回			
C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	16回			
	3. 分解点検 (電動機)		65M	—	14回			
D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	13回			
	3. 分解点検 (電動機)		65M	—	13回			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	13回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	—	13回		
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	9回		
		3. 分解点検 (電動機)		65M	○	12回		
	A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	○	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	○	14回		
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	16回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	16回		
A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断: 6M)	
	2. 分解点検 (ファン)		91M	—	15回			(電動機 振動診断: 2M)
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	8回			有効性評価 No. 5 の反映
B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断: 6M)	
	2. 分解点検 (ファン)		91M	○	14回			(電動機 振動診断: 2M)
	3. 分解点検 (電動機)		130M	○	5回			有効性評価 No. 5 の反映
3 4 A 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	○	11回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	○	1回			有効性評価 No. 5 の反映
3 4 B 放射線管理室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2 M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	12回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	2回			有効性評価 No. 5 の反映

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術 (振動診断: 1 2M) 先行実施 有効性評価 No. 5 の反映
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 A 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	-	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	-	12回		
	3 4 B 放射線管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	-	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	-	12回		
	A 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	-	12回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	-	8回		
	B 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	-	11回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	-	4回		
C 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	-	13回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	-	13回			
A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	-	12回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	-	8回			
B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	-	11回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	-	4回			
C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	-	12回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	-	8回			
3 4 ベイラ排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	(振動診断: 1 2M) 先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		104M	-	12回			
	3. 分解点検 (電動機)		104M	-	12回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 ホット工作室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施 電動機分解時に分解点検を実施
		2. 分解点検 (ファン)		B	—	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	14回		
	A 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	10回		
		3. 分解点検 (電動機)		104M	—	10回		
	B 安全補機室冷却ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	○	10回		
		3. 分解点検 (電動機)		104M	○	10回		
	A ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	○	14回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	○	14回		
	B ほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	15回		
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン 4台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	可搬型換気空調設備検査	16回施設定検時に設置
		2. 分解点検 (ファン)		1F	○	—		
		3. 分解点検 (電動機)		1F	○	—		
	緊急時対策所可搬型空気浄化フィルタユニット 4台	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1F	○	—	可搬型換気空調設備検査	16回施設定検時に設置
		2. 分解点検 (ファン)		1F	○	—		
		3. 分解点検 (電動機)		1F	○	—		
	A 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		BM	—	8回		
	B 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施
2. 開放点検		BM		—	9回			
格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査		
	2. 開放点検		BM	—	9回			
3 4 出入管理室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査		
	2. 開放点検		BM	—	9回			
A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 開放点検		52M	—	15回			
B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	○	16回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 開放点検		52M	—	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
								先行実施	先行実施	
放射線管理施設 [換気設備]	3 4 ベイラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	○	先行実施	
	3 4 ホット工工作室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	BM	—	9回	1 次系換気空調設備検査	○	先行実施	
	3 4 試料採取室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	○	先行実施	
	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	1F	○	16回		—	先行実施	
	B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	低	52M	—	16回		—	先行実施	
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F	○	16回		—		
	B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	52M	—	16回		—		
	3 4 放射線管理室給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F	○	16回		—	先行実施	
	A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F	○	16回		—	先行実施	
	B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	52M	—	16回		—	先行実施	
	A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	16回		—		
	B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	13回		—		
	A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	15回		—		
	B 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	16回		—		
	自動ダンパ	1式	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む) 2. 分解点検他	高・低	1F	○	16回	1 次系換気空調設備検査	○	一部先行実施
	自動ダンパ駆動部	1式	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高・低	65M	○	16回		○	一部先行実施
					52M~156M	○	16回		○	有効性評価 No. 10, 11 の反 映
					13M~65M	○	16回		○	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	15回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施	
		2. 分解点検		130M	○	16回			
		3. 簡易点検 (グラブドバックスン取替)		130M	○	16回			
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部 1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査	一部先行実施	
		2. 分解点検		52M~182M	○	16回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回			
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	放射線管理施設 [換気設備] その他機器 1式	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回		一部先行実施	
		2. 分解点検他		13M~104M	○	16回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高・低	13M	○	16回	中央制御室の居住性確認検査	16回施設設定検から実施	
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室 1式	1. 漏えい試験	高	6Y	—	16回	緊急時対策所の居住性確認検査	16回施設設定検から実施	
		1. 機能・性能試験		高	1F	○			16回
		1. 特性試験		高	1Y	○			—
放射線管理施設 [その他設備]	可搬型気象観測装置 1式	1. 特性試験	低	1Y	○	16回	計測制御系監視機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 16回施設設定検時に設置	
		1. 特性試験		高	3F	—			16回
		1. 漏えい率試験		高	3F	—			16回
原子炉格納容器 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器 1式	1. 機能・性能試験	高	5Y	—	16回	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 1号機設備 10年に1回は設計圧力にて実施 (16回定検において設計圧力により実施)	
		2. 外観点検		5Y	—	16回			
		1. 機能・性能試験		高	2/3F	○			15回
エアロック	エアロック 通常用 1個 非常用 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 分解点検		52M	—	15回			
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	○	16回			
機器搬入口	機器搬入口 1個	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 分解点検		52M	—	14回			
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M	—	16回			
放射線管理施設 [その他設備]	放射線管理施設 [換気設備] その他機器 1式	1. 漏えい率試験	高	2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	16回施設設定検から実施	
		2. 分解点検		13M	○	16回			
		3. 非破壊試験		10Y	—	15回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	配管貫通部 (貫通配管閉止フランジ部)	6個	高	2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	電線貫通部	41個	高	開放の都度	○	16回			
			1. 漏えい率試験		2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	45個	高	2/3F	○	15回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	原子炉格納容器隔離 (T・V信号及びUV信号)により隔離される弁	62個	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		16個	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	原子炉格納容器隔離弁	3V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CS-004B	1. 分解点検	高	52M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-CS-004C	1. 分解点検	高	52M	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-042	1. 分解点検	高	13M	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-043	1. 分解点検	高	104M	○	15回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-143	1. 分解点検	高	104M	○	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-WL-144	1. 分解点検	高	104M	○	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-DP-001A	1. 分解点検	高	130M	○	7回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-DP-001B	1. 分解点検	高	130M	—	8回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3V-DP-002A	1. 分解点検	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-DP-002B	1. 分解点検	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3V-CS-007	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3V-CS-310	1. 分解点検	高	130M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3V-CS-312	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	○	9回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	130M	—	10回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
		1. 分解点検	高	52M～182M 13M～182M	○	16回				
		2. 簡易点検 (特性点検)			○	16回				
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	1次系弁検査 1次系安全弁検査			
		2. 分解点検	高	78M～260M	○	16回	1次系弁検査			
		3. 分解点検	高	26/39M*	○	15回	1次系弁検査	*原子炉格納容器局部漏えい率検査の実施時期にあわせて実施		
		4. 簡易点検 (グラントパッキン取替)	高・低	52M～130M	○	16回				
原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の弁	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高	B	○	16回	1次系弁検査			
		2. 分解点検		65M～182M	○	16回				
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	16回				
		1. 分解点検他	高	13M～104M	○	16回				
		2. 分解点検他	低	13M～52M	○	16回				
		原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の機器	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	B	○	16回	1次系弁検査	
				2. 分解点検		65M～182M	○	16回		
				3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M	○	16回		
				1. 分解点検他	高	13M～104M	○	16回		
				2. 分解点検他	低	13M～52M	○	16回		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器スプレイス	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] ・A 格納容器スプレイスによる代替炉心注入系16回施設定検から設定	
		2. 機能・性能試験					その他原子炉注水系機能検査		
		3. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態監視等含む)					運転中の主要機器機能検査		
	A 格納容器スプレイスポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	12回	12回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 3 M) 12回は、格納容器スプレイスポンプ分解検査として実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、16回施設定検から設定
		2. 分解点検 (電動機)							
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替 ポンプ)							
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)							
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)							
	B 格納容器スプレイスポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	-	11回	11回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断: 3 M) 11回は、格納容器スプレイスポンプ分解検査として実施  有効性評価 No. 21 の反映
		2. 分解点検 (電動機)							
3. 簡易点検 (メカニカルシール取替 ポンプ)									
4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)									
5. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)									



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)		
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	10回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	—	10回	1次系熱交換器検査			
		3. 漏えい試験		130M	—	10回				
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	9回	1次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	○	9回	1次系熱交換器検査			
		3. 漏えい試験		130M	○	9回				
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3V-CP-024A	1. 分解点検	高	78M	○	11回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	11回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施	
			1. 分解点検		78M	○	12回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		12回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
			1. 分解点検		130M	—	13回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		13回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
			1. 分解点検		130M	—	14回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		14回は、原子炉格納容器スプレイ系主要弁分解検査として実施
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部 1式		1. 分解点検	高	182M	○	14回			
			2. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	○	16回			
	よう素除去薬品タンク	2台	1. 開放点検	高	130M	—	10回	1次系真空破壊弁検査		
			1. 分解点検		130M	—	10回	1次系真空破壊弁検査		
	A 原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部、ダンパ、ダンパ駆動部等含む)	高	1F	○	16回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
1. 分解点検 (ファン)			B		—	8回				
B 原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	8回		(電動機 振動診断: 1 M) 有効性評価 No. 5 の反映 電動機分解時に実施		
		1. 分解点検 (ファン)		B	○	7回				
A, B 原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	7回		(電動機 振動診断: 1 M) 有効性評価 No. 5 の反映 電動機分解時に実施		
		1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)		1F	○	16回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査			
A 原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部		2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	X*	○	16回		X*: 機能・性能試験結果により適宜実施		
		1. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	16回	1次系換気空調設備検査			
B 原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部		2. 開放点検	高	260M	—	14回				
		1. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	○	16回	1次系換気空調設備検査			
		2. 開放点検		260M	—	13回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	可燃性ガス濃度制御系主要弁	1. 分解点検	高	65M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	65M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	65M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
		1. 分解点検	高	65M	—	16回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、16回施設設定検から設定	
	静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
		14個	2. 外観点検 (触媒プレート)	高	5F	—	—	—	—
			3. 外観点検 (本体)		1F	—	—		
			1. 外観点検		1F	—	—		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	—	2. 絶縁抵抗測定	高	1F	—	—	—	—
			3. 抵抗測定		1F	—	—		
			4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)		1F	—	—		
			1. 特性試験		13M	—	—		
			1. 特性試験		13M	—	—		
			1. 機能・性能試験		B	16回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	—	1. 特性試験	高	13M	—	—	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置	
		1. 特性試験	高	13M	—	—	計測制御系監視機能検査	16回施設設定検時に設置	
		1. 機能・性能試験	高・低	B	—	16回	1次系弁検査	—	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	—	2. 分解点検	高	104M~130M	—	16回	1次系安全弁検査	—	
		3. 簡易点検 (グラウンドバッドキック替)		78M~130M	—	16回	1次系弁検査	—	
		1. 機能・性能試験		—	—	—	1次系逆止弁検査	—	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	15回	1次系弁検査	—	
		2. 分解点検	高	182M	—	15回	—	—	
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~182M	—	16回	—	—	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他機器	1式	1. 機能・性能試験	高	10F	—	13回	—	—	
		2. 分解点検	高	130M	—	16回	—	—	
その他AM(格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検		高	130M	—	14回	1次系逆止弁検査	—

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 [別紙-1]
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y	○	16回	クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-1]
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y	○	16回	クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-2]
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y	○	16回	クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-3]
	クラス1機器Ni基合金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	5Y	○	16回	供用期間中特別検査のうち クラス1機器Ni基合金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-4]
	クラス2管 (原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	16回	供用期間中特別検査のうち クラス2管 (原子炉格納容 器内) 特別検査	ISIプログラムによる。 [別紙-5]
	重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験	高	5~10Y	○	16回	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-7]
	重大事故等クラス3機器	1. 漏えい試験	高	10Y	○	16回	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	16回施設設定検時に設定
	クラス3・クラス4の配管等	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	16回	重大事故等クラス3機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別紙-8]
	RCPBのベント・ドレン弁シート部	1. 漏えい試験	高	13M	○	16回	構造健全性検査	17回施設設定検から設定
	1次冷却材管ホップレストレイント	1. 外観点検	高	1F	○	16回	構造健全性検査	排気筒については5Fで実 施
	主蒸気配管ホップレストレイント	1. 外観点検	高	1F	○	16回	レストレイント検査	
	主給水配管ホップレストレイント	1. 外観点検	高	1F	○	16回	レストレイント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラウンドパッドバッキン取 替)	高・低	B 65M~260M 78M~130M	○	16回	1次系弁検査 1次系弁検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特異点検)	高・低	B 65M~130M 13M~130M	○	16回	1次系弁検査	
	原子力設備 [その他設備] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回	1次系弁検査	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	16回	耐震健全性検査	一部BMあり クラス1、2、3供用期間 中検査対象機器を除く	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)		
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、 車軸〕	高压タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	26M	—	16回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン 取替実施		
	第1 低圧タービン				—	16回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン 取替実施		
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
	第2 低圧タービン				—	16回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン 取替実施		
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
	第3 低圧タービン				—	16回	蒸気タービン開放検査	15回定検時に蒸気タービン 取替実施		
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
					○	16回	蒸気タービン開放検査			
	蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	ロータライメント	1. 組立状況点検 (軸受箱内部清掃他)	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
		調速装置および非常調速装置	1 主蒸気止め弁	1. 外観点検	高	1F	○	16回	蒸気タービン開放検査	
				1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
				2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査	
				2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査	
2 主蒸気止め弁		MSV-2	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
3 主蒸気止め弁		MSV-3	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
4 主蒸気止め弁		MSV-4	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査		
			2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査		
	1. 開放点検		高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
	2. 組立状況点検		高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
1 蒸気加減弁	GOV-1	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
2 蒸気加減弁	GOV-2	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
3 蒸気加減弁	GOV-3	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
4 蒸気加減弁	GOV-4	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
A 1 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
B 1 再熱蒸気止め弁	B1-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
B 3 再熱蒸気止め弁	B3-RSV	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査			

機器又はシステム名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	復水・循環水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	16回	蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	16回	蒸気タービン開放検査	
	復水器 1 A	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	16回		
復水器 2 A	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	16回			
復水器 3 A	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	16回			
蒸気タービン [復水器]	復水器 1 B	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	○	13回		
	復水器 2 B	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	○	13回		
	復水器 3 B	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	14回		
	A 循環水ポンプ・電動機	1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	14回		
		1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	15回		
		1. 開放点検 (非破壊試験) 2. 開放点検 (漏えい試験)	高	78M	—	15回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	16回		
		2. 分解点検 (電動機)		65M	—	16回		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検) (ポンプ)		26M	—	16回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	16回		
		2. 分解点検 (電動機)		65M	○	16回		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検) (ポンプ)		26M	○	16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 (振動診断: 6 M)		
蒸気タービン [復水器]	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	13回		( )内は適用する設備診断技術 (振動診断: 6 M)		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回				
		B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	16回			
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
		A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	16回			
			2. 分解点検 (電動機)		78M	○	13回			
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	16回				
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回				
		C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	16回			
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			
		蒸気タービン [復水器] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	16回			一部BMあり
			2. 分解点検他	低	13M~130M	○	16回			
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 湿分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検	高	26M	○	15回	蒸気タービン開放検査			
		2. 非破壊試験	高	130M	—	15回	蒸気タービン開放検査			
		3. 漏えい試験		130M	—	15回				
		B 湿分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検	高	26M	—	16回		蒸気タービン開放検査	
			2. 非破壊試験	高	130M	—	14回		蒸気タービン開放検査	
		A 第1 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	14回			
	2. 非破壊試験			130M	—	14回				
	3. 漏えい試験			130M	—	14回				
	B 第1 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	—	15回	2次系熱交換器検査		
			2. 非破壊試験		130M	—	10回			
	C 第1 低圧給水加熱器		3. 漏えい試験		65M	—	15回			
		1. 開放点検	高	65M	—	16回	2次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	—	11回				
		3. 漏えい試験		65M	—	16回				
		A 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	12回	2次系熱交換器検査		
			2. 非破壊試験		130M	—	12回			
	B 第2 低圧給水加熱器	3. 漏えい試験	高	65M	○	12回	2次系熱交換器検査			
		1. 開放点検	高	65M	—	15回				
2. 非破壊試験			130M	—	15回					
C 第2 低圧給水加熱器		3. 漏えい試験	高	65M	—	16回	2次系熱交換器検査			
		1. 開放点検	高	65M	—	16回				
2. 非破壊試験			130M	—	16回					
3. 漏えい試験		65M	—	16回						
蒸気タービン [復水器]	A 第2 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	12回	2次系熱交換器検査			
		2. 非破壊試験		130M	○	10回				
		3. 漏えい試験		65M	○	12回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	A 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	— — —	13回 13回 13回	2次系熱交換器検査	
	B 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	— — —	14回 14回 14回	2次系熱交換器検査	
	A 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M	— —	13回 10回	2次系熱交換器検査	
	B 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M	— —	13回 14回	2次系熱交換器検査	
	A 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M	— —	15回 10回	2次系熱交換器検査	
	B 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M	— —	16回 11回	2次系熱交換器検査	
	脱気タンク	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	39M	○	14回	2次系容器検査	
	A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	—	16回	2次系容器検査	
	B 脱気器	1. 開放点検	高	39M	○	14回	2次系容器検査	
	A 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M	— —	12回 12回	2次系熱交換器検査	
	B 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	130M 130M	— —	13回 13回	2次系熱交換器検査	
	グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検 2. 非破壊試験 3. 漏えい試験	高	65M 130M 65M	○ ○ ○	12回 10回 12回	2次系熱交換器検査	
	給水、復水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	16回	蒸気タービン附属設備機能検査	
	A タービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン) 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (タービン)	高	B 52M 52M	○ ○ ○	13回 13回 13回	2次系ポンプ機能検査 2次系ポンプ分解検査	
	A タービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (ポンプ)	高	52M 78M 13M	— — ○	16回 16回 16回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	—	16回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	—	16回		
		3. 分解点検 (タービン)		52M	—	16回		
	Bタービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	16回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	○	14回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	16回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		52M	—	16回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		78M	—	16回		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	15回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回		
	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	13回		
		2. 分解点検 (電動機)		78M	○	13回		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回		
B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	14回			
	2. 分解点検 (電動機)		78M	—	14回			
	3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回			
C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	15回			
	2. 分解点検 (電動機)		78M	—	15回			
	3. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	16回			
3 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	—	13回	2次系容器検査	有効性評価 No. 24 の反映	
	1. 開放点検		65M	○	13回			2次系容器検査
	1. 開放点検		130M	—	16回			
3 B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	○	7回	2次系容器検査	有効性評価 No. 24 の反映	
	1. 開放点検		130M	—	8回			
	1. 開放点検		130M	—	9回			
3 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	—	15回	2次系容器検査		
	1. 開放点検		130M	—	15回			
	1. 開放点検		130M	—	10回			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～156M 13M～130M	○ ○	16回 16回		一部BMあり
	蒸気タービン (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統) 2次系配管等* (上記「蒸気タービン 主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他の系統) *: 配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	1. 開放点検 2. 非破壊試験 1. 外観点検* 2. 非破壊試験	高 高・低	13M 肉厚管理指針による 10V 肉厚管理指針による	○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回		蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 2次系配管検査 2次系配管検査
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン及び附属設備	1. 保安装置点検 2. 負荷点検	高	1F 1F	○ ○	16回 16回	蒸気タービン性能検査 総合負荷性能検査	一部施設定検起動後 施設定検起動後
	蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 分解点検 4. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)	高・低 高 低 高・低	B 13M～260M 13M～260M 52M～130M	○ ○ ○ ○	16回 16回 16回 16回	2次系安全弁検査	
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン [その他設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高・低	B 52M～182M 13M～182M	○ ○ ○	16回 16回 16回		
	蒸気タービン [その他設備] その他機器	1. 分解点検他 2. 分解点検他	高 低	13M～130M 12M～260M	○ ○	16回 16回		有効性評価 No. 16 の反映 一部BMあり プラント運転中又は施設定検停止中 プラント運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	その他AM (格納容器内注水) 機器	1. 分解点検他	高	12M～182M	○	16回	1次系弁検査	
	非常用ディーゼル発電機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
非常用炉心冷却設備作動(信号)及び原子炉格納容器スプレイ作動(信号)発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	46台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用発電装置]	A デイゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M~10AM	○	16回			
	A デイゼル機関	1. 分解点検他	高	13M~156M	○	16回			
	A デイゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	○	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 3, 11	1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	1. 分解点検	高	130M	—	8回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	1. 分解点検	高	130M	—	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関の吸気弁	No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関の排気弁	No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	A デイゼル機関の燃料噴射弁	No. 5-8, 13-16	1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	B デイゼル発電機		1. 分解点検他	高	13M~10AM	○	16回		
	B デイゼル機関		1. 分解点検他	高	13M~156M	○	16回		
	B デイゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	1. 分解点検	高	130M	○	10回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	1. 分解点検	高	130M	—	12回	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
No. 3, 11		1. 分解点検	高	130M	—	14回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 4, 12		1. 分解点検	高	130M	—	8回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 5, 13		1. 分解点検	高	130M	—	9回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 6, 14		1. 分解点検	高	130M	—	11回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 7, 15		1. 分解点検	高	130M	—	13回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		
No. 8, 16		1. 分解点検	高	130M	—	15回	非常用ディーゼル発電機分 解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bディーゼル機関のシリンダカバー	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の吸気弁	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の排気弁	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	1. 分解点検	高	26M	○	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		1. 分解点検	高	26M	—	16回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	ディーゼル発電機付属設備	1式	1. 外観点検	高	1F	○	16回		非常用予備発電機付属設備検査
			2. 分解点検		26M~130M	○	16回		
			3. 開放点検		26M~130M	○	16回		
			4. 非破壊試験		13M	○	16回		非常用予備発電機付属設備検査
			5. 漏えい試験		13M	○	16回		
			6. 機能・性能試験		1F	○	16回		非常用予備発電機付属設備検査
			7. 特性試験		13M	○	16回		非常用予備発電機付属設備検査
	空冷式非常用発電装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回		その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査
	電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	3台	2. 取替他		120M	○	—		有効性評価 No. 17 の反映
	電源車 (緊急時対策所用)	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		可搬式代替電源設備検査
	電源車 (緊急時対策所用 (DB))	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		可搬式代替電源設備検査
	電源車	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		可搬式代替電源設備検査
重油タンク	2台	1. 開放点検	高	10V	—	—	プラント運転中又は施設設定検査 検査停止 16回施設設定検査時に設置 検査停止 16回施設設定検査時に設置		
タンクローリー	3台	1. 機能点検	高	1Y	○	—	プラント運転中又は施設設定検査 検査停止 16回施設設定検査時に設置		
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕 その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	16回	非常用予備発電機付属設備検査		
その他発電用原子炉の附属施設〔非常用発電装置〕 その他機器	1式	2. 分解点検		26M~130M	○	16回			
		1. 分解点検他	高	13M~130M	○	16回			
		2. 分解点検他	低	13M~130M	○	16回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	16回施設設定検時に設置 16回施設設定検時に設置
	計器用電源	1. 機能・性能試験	高	1F	○	16回	インバータ機能検査	
	可搬型整流器	1. 分解点検他	高	26M	○	16回		
		1. 外観点検	高	1F	○	—		
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)	2. 電圧測定	高	1F	○	—		
		2. 電圧測定	高	1F	○	—		
	その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~52M	○	16回		
		2. 分解点検他	低	13M~52M	○	16回		
		1. 分解点検他	高	13M~104M	○	16回		
		1. 分解点検他	高・低	13M~156M	○	16回		
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備] しや断器	1. 分解点検他	高・低	52M~216M	○	16回		有効性評価 No. 18, 19 の反 映	
	1. 分解点検他	高	6M~156M	○	16回		プラント運転中又は施設定 検停止中	
	2. 分解点検他	低	13M~130M	○	16回		一部BMあり	
	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	16回		プラント運転中又は施設定 検停止中	
	2. 分解点検 (ボンプ)		10Y	—	—		プラント運転中又は施設定 検停止中	
	3. 分解点検 (電動機)		6Y	—	16回		プラント運転中又は施設定 検停止中	
	消火水バックアップボンプ	1. 機能・性能試験	低	B*	—	—		B*: ボンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 16回施設設定検時に設置
		2. 分解点検 (ボンプ)		130M	—	—		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	—		
	煙等流入防止装置 その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器	1. 外観点検	高	1F	○	—		16回施設設定検時に設置
1. 特性試験他		低	1Y~10Y	○	—		プラント運転中又は施設定 検停止中	
1. 外観点検		高	1F	○	—		16回施設設定検時に設置	
1. 外観点検		高	10Y	—	—		プラント運転中又は施設定 検停止中	
浸水防止壘 堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1. 外観点検	高	1Y	○	—		16回施設設定検時に設置	
	1. 外観点検	高	1Y	○	—		プラント運転中又は施設定 検停止中	
潮位計	1. 機能・性能試験	高	1F~4F	○	16回		16回施設設定検時に設置 (1 台) 計測制御系監視機能検査 は、17回施設設定検から実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	津波監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		16回施設検時に設置
	A 湧水サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	浸水防護設備検査	B* : 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ 16回施設検から設定
	B 湧水サンプポンプ・電動機	2. 取替		5Y	—	—		
		1. 機能・性能試験	低	B*	—	—	浸水防護設備検査	B* : 取替にあわせて実施 プラント運転中又は施設 検停止中 ポンプ・電動機一体型ポン プ 16回施設検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1式	2. 取替		5Y	—	—		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、 17回施設検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1式	2. 分解点検		130M	—	—		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	—	—	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査検査は、 17回施設検から設定
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1式	2. 分解点検		182M	—	—		
		1. 外観点検他	高・低	1F~10F	○	—		16回施設検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [補機駆動用燃料設備]	106個	1. 外観点検	高	6M	○	—		プラント運転中又は施設 検停止中 16回施設検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用取水設備]	貯水堰	1. 外観点検	高	2Y	—	—		プラント運転中又は施設 検停止中 16回施設検時に設置
		1. 外観点検	高	1Y	○	—		プラント運転中又は施設 検停止中 16回施設検時に設置
土木建築設備	原子炉建室 (格納容器内壁)	1. 外観点検	高	1F	○	16回		施設検停止中
		1. 外観点検	高・低	1Y	○	16回		プラント運転中又は施設 検停止中 16回施設検時に設置
プラント総合	取水口設備	1. 外観点検	高	1F	○	16回		プラント運転中又は施設 検停止中 施設検起動後
		1. 総合性能試験	高	1F	○	16回		総合負荷性能検査
全般機器	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1. 分解点検他	低	6M~168M	○	16回		プラント運転中又は施設 検停止中

クラス1機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)										備考	
								2018年 第一回	2019年 第一回	2020年 第一回	2021年 第一回	2022年 第一回	2023年 第一回	2024年 第一回	2025年 第一回	2026年 第一回	2027年 第一回		
B2. 111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジヨニングとの周溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)
B3. 105	B-C	トランジヨニングと下部胴との周溶接継手 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の5%	1箇所	水中UT(内面)	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100%	(重大事故等クラス2機器)
B3. 10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手 冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A, B C, D	(重大事故等クラス2機器)
B3. 20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%	4箇所	水中UT(内面)	各100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A, B C, D	(重大事故等クラス2機器)
B5. 10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%	4箇所	UT及びPT	各100%	-	-	A (PT)	-	-	-	-	-	-	-	A, B C, D (水中UT)	(重大事故等クラス2機器)
B6. 10	B-G-1	ナット	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	-	7	8	8	7	7	7	7	7	10	(重大事故等クラス2機器)
B6. 30	B-G-1	スタッドボルト	体積	全数の100%	54本	UT	100%	-	-	7	8	8	7	7	7	7	7	10	(重大事故等クラス2機器)
B6. 40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%	54箇所	UT	可能範囲100%	-	-	18	-	-	18	-	-	-	-	18	ガイドスレッド近傍は検査不可 (重大事故等クラス2機器)
B6. 50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%	54個	VT-1	100%	-	-	7	8	8	7	7	7	7	7	10	(重大事故等クラス2機器)
B7. 10	B-G-2	T/Cハウジングのマーキングランプ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%	3箇所/1組 x 4組	VT-1	25% (1組)	-	-	1組 #66	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
G1. 10	G-P-1	原子炉容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲100% 約3年毎	-	-	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	可能範囲100%	(重大事故等クラス2機器)
G1. 40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%	6箇所	VT-3 (水中TV)	可能範囲100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	可能範囲100%	下部炉心構造物取出し時に実施 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)										備考				
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回		2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%	1基	VT-3 (水中TV)	可能範囲 100%	-			-			-		可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
B14.10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部) 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)	体積又は 表面	最外周 25%	最外周 20箇所 (全62箇所) 最外周 24箇所 (全66箇所)	PT	最外周 可能範囲 25% (11箇所)	-	2	-	-	2	1	-	1	2	1.構造上UTは不可 2.上部は構造的に実施困難 (重大事故等クラス2機器)
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	-	-	○	○	-	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%	8箇所	VT-3	25% (2箇所)	-		B 出口側	-		D 出口側	-			但し、目視可能な範囲のみと する。 (重大事故等クラス2機器)

クラス1機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008				大阪発電所 第3号機 検査計画(10年間)										備考		
		検査方法	検査範囲	設構数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第一回	2020年 第19回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回		2027年 第23回	
B2. 11	B-B	上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	5%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	-	-	-	-	5%	-	(重大事故等クラス2機器)	
B2. 12	B-B	上部胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	B10%	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		中間胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	A10%	-	-	-	-	B10%	-	(重大事故等クラス2機器)		
		下部胴の長手継手	体積	全長の10%	2箇所	UT	各10%	-	-	-	-	A10%	-	-	-	B10%	(重大事故等クラス2機器)	
B2. 13	B-B	上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	5%	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の5%	1箇所	UT	5%	-	-	-	-	-	5%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
B3. 30	B-D	安全弁用管台と容器との溶接継手			3箇所													
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%	1箇所	UT	33% (2箇所)	-	スプレイ 用管台	逃がし弁 用管台	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		スプレイ用管台と容器との溶接継手			1箇所													
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所													
B3. 40	B-D	安全弁用管台内面の丸みの部分			3箇所													
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%	1箇所	UT	33% (2箇所)	-	スプレイ 用管台	逃がし弁 用管台	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		スプレイ用管台内面の丸みの部分			1箇所													
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所													





クラス1機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大館発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設構数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回		2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回	2027年 第23回	
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基 全数の 25%	1箇所/ 1基 x4基	UT	代表1基の 25%	-	A 9%	-	-	A 8%	-	-	-	-	A 8%	(重大事故等クラス2機器)	
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基 全数の 25%	1箇所/ 1基 x4基	UT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-	-	-	-	B 入口側	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分																	
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全数の 25%	1箇所/ 1基 x4基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所 /1基)	-	A入口側 (UT,PT)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*1 (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手																	
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	VT-1	代表1基 全数の 25%	16本/ 1基 x4基	VT-1	代表1基の 50% (16本 /1基)	-	A 入口側 4本	-	-	A 入口側 6本	-	-	-	-	-	A 入口側 6本	(重大事故等クラス2機器)
		1次側マンホールボルト(出口側)																	
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートバンドとの溶接継手	表面	代表1基 全数の 7.5%	4箇所/ 1基 x4基	PT	代表1基の 25% (1箇所 /1基)	-	-	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	滲えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基 の25%	4箇所/ 1基 x4基	VT-3	代表1基の 100% (4箇所 /1基)	-	-	A4	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

\*1: 検査方法のうちUTについては、NISA文書「定期事業者検査における超音波探傷試験の代替措置計画策定について」の検査対象







項目番号	カテゴリ	維持類指 JSME S NA1-2008				大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回		2026年 第22回
B6. 180		主フランジボルト	体積	代表1台の 25%	24本 /1台 x4台	UT	代表1台の 25% (6本/1台)	-	A 6								(重大事故等クラス2機器)
B6. 190	B-G-1	主フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	24箇所 /1台 x4台	VT-1	代表1台の 25% (6箇所/1台)	-	A 6								ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	代表1台の 25%	24組 /1台 x4台	VT-1	代表1台の 25% (6組/1台)	-	A 6								(重大事故等クラス2機器)
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	4台	VT-3	100% (1台)	-	A								ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%	-	○	○	○	○	○	-	○	○	(重大事故等クラス2機器)
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 25%	3箇所 /1台 x4台	VT-3	代表1台の 100% (3箇所/1台)	-				A 3					(重大事故等クラス2機器)

クラス1 機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S N A I - 2008	検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画 (10年)												備考			
				検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回		2025年 第一回	2026年 第22回	2027年 第23回
B7. 70	B-G-2	直径50mm 以下の 圧力保持用 ボルト 締付け部	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	3台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	3V-RC-056								3V-RC-055, 3V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)		
			加圧器遮がし弁ライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)	3V-RC-054A									3V-RC-054A, B (重大事故等クラス2機器)	
			加圧器スプレイレイン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)		3PCV-451A									3PCV-452A, B (重大事故等クラス2機器)
			加圧器補助スプレイレイン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)		3V-CS-169									3V-CS-169
			抽出及びびドレンライン	VT-1	代表1台 の25%	1台	VT-1	代表1台 の100% (1台)			3V-RC-017								3V-RC-017
			CVCGS充てんライン	VT-1	代表1台 の25%	2台	VT-1	代表1台 の100% (1台)							3LCV-451				3LCV-451 3LCV-452
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)											3V-CS-164, 3V-CS-166 (重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	8台	VT-1	代表1台 の100% (1台)											3PCV-420, 3PCV-430 (重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)											3V-SI-134A, B, C, D 3V-SI-136A, B, C, D (重大事故等クラス2機器)
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1台 の25%	4台	VT-1	代表1台 の100% (1台)											3V-RH-051A, B 3V-SI-082B, C
B12. 50	B-M-2	呼び径 100mmを 超える弁箱	加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100% (1台)		3V-RC-055							3V-RC-055, 3V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)		3PCV-420								3PCV-420, 3PCV-430 (重大事故等クラス2機器)	
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	8台	VT-3	代表1台 の100% (1台)										3V-SI-134A, B, C, D 3V-SI-136A, B, C, D (重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-RH-051A, B 3V-SI-082B, C
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-RH-050A, B, C, D (重大事故等クラス2機器)
			加圧器安全弁ライン	VT-3	代表1台 の100%	3台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-RC-055, 3V-RC-056 (重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3PCV-420, 3PCV-430 (重大事故等クラス2機器)
			SIS蓄圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	8台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-SI-134A, B, C, D 3V-SI-136A, B, C, D (重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-RH-051A, B 3V-SI-082B, C
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	代表1台 の100%	4台	VT-3	代表1台 の100% (1台)											3V-RH-050A, B, C, D (重大事故等クラス2機器)
B15. 70	B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%	1式	VT-2	100%								(重大事故等クラス2機器)			

クラス1 機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S N A 1 - 2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)												備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回		2026年 第22回	2027年 第23回		
F1.41	F-A	支持構造物	加圧器安全弁ライン	代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x3台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-	3V-RC- 055 1	-	-	-	-	-	3V-RC-055.3V-RC-056 3V-RC-057 (重大事故等クラス2機器)			
				代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-	3V-RC- 054B 2	-	-	-	-	-	-	3V-RC-054A・B (重大事故等クラス2機器)		
				代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-	-	3PCV- 452A 2	-	-	-	-	-	-	3PCV-452A・B (重大事故等クラス2機器)	
				代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-	-	-	3PCV- 451B 2	-	-	-	-	-	-	3PCV-451A・B
				代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x1台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-	-	-	3V-CS- 169 1	-	-	-	-	-	-	3V-CS-169
				代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	2箇所/ 1台 x2台	VT-3	代表1台 の100% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3LGV- 452 2	3LGV-451 3LGV-452
			抽出及びびドレンライン	代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x1台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	3PCV-420.3PCV-430 3V-RH-002A・B (重大事故等クラス2機器)			
			糸線除去ポンプ入口ライン	代表1台 の25%	VT-3	代表1台 の25%	1箇所/ 1台 x4台	VT-3	代表1台 の100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-			



項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲 代表1基 全長の 7.5%	設備数 1箇所/1 基×2基	検査方法	検査範囲 代表1基の 7.5%	2012年 第一回	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)					備考		
									2013年 第一回	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年		2018年 第一回	2019年 第17回
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-	A 7.5%						(重大事故等クラス2機器)	
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-				A 7.5%			(重大事故等クラス2機器)	
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/1 基×2基 1箇所/1 基×2基	UT及び PT	代表1基の 50% (1箇所/1基)	-	A 入口側						(重大事故等クラス2機器)	
		管側出口管台と管側胴との溶接継手														
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全長の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	-	A 16本							A 16本 (重大事故等クラス2機器)

クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(2/10)

2. 配管(1/3)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所	検査範囲		検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	大阪秀電所 第3号機 検査計画(10カ年)				備考						
			検査範囲	検査方法					2012年 第一回	2013年 第一回	2014年 第一回	2015年 第16回		2016年 第一回	2017年 第一回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回
C3. 20	C-C	支持部材取 付け溶接継 手	高圧注入ポンプ出口ロライン	全数の 7.5%	表面	6箇所	PT	16% (1箇所)	-	1			-				(重大事故等クラス2機器)		
			高圧注入ポンプ出口連絡ライ ン	全数の 7.5%	表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-		1			-				(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去ポンプ入口ロライン	全数の 7.5%	表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-					-	1			(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器出口ロライン	全数の 7.5%	表面	1箇所	PT	100% (1箇所)	-					-	1			(重大事故等クラス2機器)	
			SIS高温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-			1			-				
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-	1			(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンプ 出口ロライン	全数の 7.5%	表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-						-			1	(重大事故等クラス2機器)
			充てんポンプ出口ロライン	全数の 7.5%	体積及び 表面	4箇所	UT及び PT	25% (1箇所)	-		1				-				(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ入口ロライン	全数の 7.5%	体積又は 表面	67箇所	PT	8% (6箇所)	-		1	2			-	1			(重大事故等クラス2機器)
			余熱除去ポンプ出口ロライン	全数の 7.5%	体積又は 表面	2箇所	PT	50% (1箇所)	-		1				-				(重大事故等クラス2機器)
C5. 11	C-F	呼び径 100Aを超え る管で公称 厚さが 9.5mmを超 える溶接継 手	余熱除去冷却器出口ロライン	全数の 7.5%	体積及び 表面	44箇所	UT及び PT	9% (4箇所)	-	1	1		-		1		(重大事故等クラス2機器)		
			SIS高温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	体積及び 表面	16箇所	UT及び PT	12% (2箇所)	-	1			-	1					
			SIS低温側低圧注入ライン	全数の 7.5%	体積及び 表面	38箇所	UT及び PT	7.8% (3箇所)	-	1			1	-	1			(重大事故等クラス2機器)	
			高圧注入ポンプ出口ロライン	全数の 7.5%	体積及び 表面	40箇所	UT及び PT	7.5% (3箇所)	-	1			1	-			1	(重大事故等クラス2機器)	

クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008												備考														
		検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	2012年		2013年		2014年		2015年			2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年			
		検査の範囲	検査方法			検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数	検査方法	検査範囲	検査回数
C5. 11	C-F	呼び径100Aを 超える管で公 称厚さが9.5mm を超える溶接 継手	格納容器再循環サブ 出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	2箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C5. 12	C-F		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	6箇所	PT	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			燃料取替用水ピット出口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C5. 21	C-F	呼び径50A以 上100A以下の 管で公称厚さ が5mmを超え る溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の 7.5%	44箇所	PT	9% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			封水注入ライン	表面	全数の 7.5%	12箇所	PT	8% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面	全数の 7.5%	17箇所	PT	11% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 7.5%	40箇所	PT	10% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 30	C-F	ソケット溶接継 手	SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 7.5%	36箇所	PT	8% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			封水注入ライン	表面	全数の 7.5%	19箇所	PT	10% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
C5. 41	C-F	呼び径50Aを超 える母管と管 台及び母管と 枝管との溶接 継手	SIS低温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			SIS高温側高圧補助 注入ライン	表面	全数の 7.5%	20箇所	PT	10% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			高圧注入ポンプ出口ライン	表面	全数の 7.5%	2箇所	PT	50% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考								
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年		2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回			
F1.21	F-A	支持構造物	充てんポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	1箇所	VT-3	100% (1箇所)	-	1								(重大事故等クラス2機器)			
			余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	47箇所	VT-3	8% (4箇所)	-	1	1					1		1	(重大事故等クラス2機器)		
			余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	15箇所	VT-3	13% (2箇所)	-	1						1				(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器出入ライン	VT-3	全数の 7.5%	20箇所	VT-3	10% (2箇所)	-	1									1	(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	43箇所	VT-3	9% (4箇所)	-	1	1							1		(重大事故等クラス2機器)	
			余熱除去冷却器バイパスライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)	-			1									
			SIS高温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)	-								1				
			SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-									1			(重大事故等クラス2機器)
			高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	40箇所	VT-3	7.5% (3箇所)	-		1									1	(重大事故等クラス2機器)
			封水注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	23箇所	VT-3	8% (2箇所)	-		1							1			
			高圧注入ポンプ出口連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	11箇所	VT-3	9% (1箇所)	-										1		(重大事故等クラス2機器)
			SIS高温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	14箇所	VT-3	14% (2箇所)	-		1								1		
			SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の 7.5%	44箇所	VT-3	9% (4箇所)	-		1									1	(重大事故等クラス2機器)
			格納容器再循環サンブ出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	16箇所	VT-3	12% (2箇所)	-		1								1		(重大事故等クラス2機器)
燃料取替用水ピット出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	8箇所	VT-3	12% (1箇所)	-		1										(重大事故等クラス2機器)			

3. 充てんポンプ

クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-2(5/10))

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考			
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年		2017年	2018年 第一回	2019年 第17回
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	全数の7.5%	16箇所/ 1台×2台	PT	全数の9% (3箇所)	-	A 1箇所	-	-	-	-	A 1箇所	A 1箇所	(重大事故等クラス2機器)
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本/1台×2台	UT	代表1台の12% (2本/1台)	-	A 1本	-	-	-	-	A 1本	-	(重大事故等クラス2機器)
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所/1台×2台	PT	代表1台の100% (1箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	A 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	A 100%	-	(重大事故等クラス2機器)

4. 充てんポンプ(往復動式)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考				
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年		2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	全数の7.5%	1箇所/ 1台	VT-3	100% (1箇所/ 1台)	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

5. 余熱除去ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008	大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考				
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年		2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	PT	代表1台の50% (1箇所/ 1台)	-	B 1箇所	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100% (2箇所/ 1台)	-	-	-	-	-	-	-	B 100%	-	(重大事故等クラス2機器)

## クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所	大航海電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考						
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年		2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	
F1.43	F-A	支持構造物 余熱除去冷却器出入口ロライン 余熱除去冷却器出口ロライン 余熱除去冷却器バイパスロライン 封水注入ロライン 格納容器再循環サブ出口ロライン	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100%(2箇所/1台)	-										3HCV-603、3HCV-613 (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100%(2箇所/1台)	-										3V-RH-043A・B (重大事故等クラス2機器)	
			VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100%(2箇所/1台)	-											3FCV-604、3FCV-614
			VT-3	代表1台の7.5%	1箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100%(1箇所/1台)	-											3V-SI-026A・B
			VT-3	代表1台の7.5%	2箇所/1台×2台	VT-3	代表1台の100%(2箇所/1台)	-											

クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(1/4)

別紙-2(7/10))

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所	運転圧力又は最高使用圧力(MPa)	検査方法	大阪発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
		系統名	ライン名				2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回		
C7.30 C7.70	C-H	1次冷却材系統	加圧器逃がしタンクPMW供給ライン	0.98	VT-2	-					●							
			抽出ライン(1)	15.41	VT-2	-		※1										RCS漏えい検査時実施
			抽出ライン(2)	2.06	VT-2	-		※1										
			抽出ライン(3)	0.34	VT-2	-			●									
			体積制御タンク入口ライン	0.27	VT-2	-		※1										
			体積制御タンク及び出入ライン	0.11	VT-2	-			●									一部気圧検査
			A充てんポンプ出口ライン及び封水注入ライン	18.0	VT-2	-									○			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統	B充てんポンプ出口ライン	18.0	VT-2	-		※1										
			C充てんポンプ出口ライン	17.36	VT-2	-									○			
			ほう酸混合器及び出入ライン	0.11	VT-2	-					●							
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.11	VT-2	-					●							
			Aほう酸ポンプ入口ライン	水張り	VT-2	-		※1										一部気圧検査
			Bほう酸ポンプ入口ライン	水張り	VT-2	-		※1										一部気圧検査
			Aほう酸ポンプ出口ライン	0.87	VT-2	-		※1										
			Bほう酸ポンプ出口ライン	0.87	VT-2	-		※1										
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統	A、B高圧注入ポンプ入口ライン	0.19	VT-2	-		※1										
			A高圧注入ポンプ出口ライン(1)	10.01	VT-2	-					●							
			A高圧注入ポンプ出口ライン(2)	10.01	VT-2	-									○			RCS漏えい検査時実施

※1:プラント長期停止に伴い、プラント起動時(H29)に検査を実施





クラス2機器供用期間中検査10年計画

7. クラス2機器漏えい検査(3/4)

別紙-2(9/10))

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S-NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備考		
		系統名	検査の対象箇所 ライン名	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	格納容器ブレイク統	PH調整剤タンク及び出入口ライン	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	一部気圧検査
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	主蒸気系統	A蒸気発生器蒸気出口ライン B蒸気発生器蒸気出口ライン C蒸気発生器蒸気出口ライン D蒸気発生器蒸気出口ライン	4.62	4.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	主給水系統	A蒸気発生器給水入口ライン B蒸気発生器給水入口ライン C蒸気発生器給水入口ライン D蒸気発生器給水入口ライン	4.62	4.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	蒸気発生器ブロワードウンシステム	A蒸気発生器ブロワードウンライン B蒸気発生器ブロワードウンライン C蒸気発生器ブロワードウンライン D蒸気発生器ブロワードウンライン	4.62	4.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン B制御用空気ライン	0.74	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施
C7.30 C7.70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	RCS漏えい検査時実施



## クラス3機器供用期間中検査10年計画

### 1. 余熱除去冷却器(胴側)

別紙-3(1/7)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回		2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)	-	A						-			
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)	-	A						-			

### 2. 格納容器スブレイ冷却器(胴側)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回		2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回
D1. 10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)	-			A				-			
F1. 44	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の 7.5%	2箇所 /1基 x 2基	VT-3	代表1基の 100% (2箇所)	-			A				-			

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(2/7)

3. 配管

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
								2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回		
D1. 20	D-A	配管の支持部材 取付け溶接継手 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	58箇所	VT-3	8% (5箇所)	-	1				2			-	1	1	
F1. 31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	401箇所	VT-3	7.7% (31箇所)	-	6			5	10			-	5	5	

4. 弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
								2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回		
F1. 31	F-A	支持構造物 原子炉補機冷却 水系統	VT-3	全数の 7.5%	1箇所/ 1台 x 2台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所)	-								-	1		
					2箇所/ 1台 x 2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所)	-								-		2	

クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(3/7)

5. クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		運転圧力 又は 最高使用 圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考	
		系統名	検査の対象箇所 ライン名				2012年 第一回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回		
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却水系	A, B原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	0.34	0.34	VT-2	-				●			-				
			C, D原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	0.34	0.34	VT-2	-								-	○		
D2.10 D2.30	D-B	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水サージタンク 及び出入口ライン	0.02	0.02	VT-2	-	●						-				一部気圧検査
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	0.96	0.96	VT-2	-								-	○		
D2.10 D2.30	D-B	燃料ピット冷却浄化系	C, D原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	0.96	0.96	VT-2	-							-				
			使用済燃料ピットポンプ入口ライン	0.18	0.18	VT-2	-	●							-			
D2.10 D2.30	D-B	燃料ピット冷却浄化系	A使用済燃料ピットポンプ出口ラ イン	0.76	0.76	VT-2	-				●			-				
			B使用済燃料ピットポンプ出口ラ イン	0.76	0.76	VT-2	-								-	○		
D2.30	D-B	制御用空気系統	A制御用空気出口ライン	0.64	0.64	VT-2	-							-		○		気圧検査
			B制御用空気出口ライン	0.64	0.64	VT-2	-								-			○

## クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-3(4/7)

### 6. 原子炉補機冷却水冷却器

項目番号	カテゴリ	大飯発電所 第3号機 検査計画(10分年)										備考						
		維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年		2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回
D1.10	D-A		胴と当板との溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (3箇所)							A			
F1.44	F-A		支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (3箇所)							A			

### 7. 海水ストレーナ

項目番号	カテゴリ	大飯発電所 第3号機 検査計画(10分年)										備考						
		維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年		2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回
D1.10	D-A		鏡板とスカートとの溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基の100% (1箇所)					A					
F1.44	F-A		支持構造物(スカート)	VT-3	代表1基の7.5%	1箇所/1基 ×4基	VT-3	代表1基の100% (1箇所)					A					

### 8. 非常用ディーゼル発電機清水冷却器

項目番号	カテゴリ	大飯発電所 第3号機 検査計画(10分年)										備考						
		維持規格 JSME S NA1-2008	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第一回	2013年	2014年		2015年 第16回	2016年	2017年	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回
D1.10	D-A		胴と当板脚との溶接継手	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)									A	
F1.44	F-A		支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	2箇所/1基 ×2基	VT-3	代表1基の100% (2箇所)									A	



クラス3機器供用期間中検査10年計画

11. 弁

別紙-3(6/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008		大阪発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第1回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年		2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回
F1.31	F-A	支持構造物	VT-3	全数の7.5%	3箇所	RH: 3	VT-3	33% (1箇所)							1 (V- PMPW- 501)		

12. 原子炉補機冷却水ポンプ

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008		大阪発電所 第3号機 検査計画(10ヵ年)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2012年 第1回	2013年	2014年	2015年 第16回	2016年	2017年		2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所/1台 ×4台		VT-3	代表1台の100% (4箇所)								A		





クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画

別紙-4(1/1)

NRA文書(原規技発第1408063号)		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考		
機器名	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査頻度	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回		2025年 第一回	2026年 第22回
原子炉 容器	原子炉容器底部の表面	-	-	100%/5年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所		-	○	-	-	-	-	○	-	-	-



1. 原子炉格納容器

原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

別紙-6(1/1)

維持規格 JSME S NA1-2008		大阪発電所 第3号機 検査計画(10力年)													備考										
項目番号	力テコリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	
E8.10	E-G	圧力保持 用ボルト 締付け部	機器出入口 (PEN #540)	VT-4	25%	1箇所	VT-4	25%																	

# 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 格納容器スプレイ冷却器(管側)

別紙-7(1/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲 代表1基 全長の 7.5%	設備数 1箇所/ 1基×2基	検査方法	検査範囲 代表1基の 7.5%	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考		
								2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回			
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A 7.5%	
C1. 20	C-A	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%	1箇所/ 1基×2基	UT	代表1基の 7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A 7.5%	
C4. 10	C-D	全ねじボルト	体積	代表1基 全長の 7.5%	48本/1基 ×2基	UT	代表1基の 100% (48本/1基)	-	-	A 16本	-	-	-	-	-	-	-	-	A 16本	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	大阪発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考			
					設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回		2024年 第23回	2025年 第24回	2026年 第25回
C3. 20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		支持部材取 付け溶接継 手	表面	全数の 7.5%	1箇所	PT	100% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 11	C-F	主蒸気大気放出口ライン	表面	全数の 7.5%	4箇所	PT	25% (1箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5. 12	C-F	原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	14箇所	PT	14% (2箇所)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		主蒸気大気放出口ライン	体積及び 表面	全数の 7.5%	8箇所	UT及び PT	12% (1箇所)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
C5. 12	C-F	原子炉補機冷却水冷却器 入口ライン	体積又は 表面	全数の 7.5%	11箇所	PT	9% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		原子炉補機冷却水戻り母管	体積又は 表面	全数の 7.5%	18箇所	PT	11% (2箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	原子炉補機冷却水ポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	19箇所	VT-3	10% (2箇所)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		原子炉補機冷却水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	10箇所	VT-3	10% (1箇所)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	格納容器再循環ユニット 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	54箇所	VT-3	9% (5箇所)	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1
		格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	82箇所	VT-3	8% (7箇所)	-	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-
F1. 21	F-A	格納容器スプレイポンプ 入口ライン	VT-3	全数の 7.5%	12箇所	VT-3	8% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		格納容器スプレイポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	6箇所	VT-3	16% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F1. 21	F-A	格納容器スプレイ冷却器 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	13箇所	VT-3	7.6% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		RHR-CSS連絡ライン	VT-3	全数の 7.5%	7箇所	VT-3	14% (1箇所)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考								
								2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回									
F1.21	F-A	恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	全数の 7.5%	40箇所	VT-3	7.5% (3箇所)		-	1																
		可搬式代替低圧海水注入 ライン	VT-3	全数の 7.5%	2箇所	VT-3	50% (1箇所)		-																	
		主蒸気大気放出ライン	VT-3	全数の 7.5%	4箇所	VT-3	25% (1箇所)		-		1															

### 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

3. 格納容器スプレイポンプ

別紙-7(4/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回		2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台 × 2台	PT	代表1台の 50% (1箇所/1台)		-			A 50%	-			-		
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台 × 2台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-				-			-		A 100%

4. 恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回		2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台 × 1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)		-					-			-	100%



重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考
								2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第23回	2025年 第24回	2026年 第25回	
F1.43	F-A	支持構造物 格納容器再循環ユニット 出口ライン	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台 1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	3TCV- 2392A 2	-	-	-	-	-	-	-	-	3TCV- 2392A 3610,3620, 3630,3640
			VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (1箇所/1台)	-	3V-CP- 024A 1	-	-	-	-	-	-	-	-	3V-CP-024 A,B
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×1台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	3V-RH -061 2	-	-	3V-RH-061
			VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台×4台	VT-3	代表1台の 100% (2箇所/1台)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備考			
		系統名	検査の対象箇所 ライン名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		2026年		
							第16回	第1回	第17回	第18回	第19回	第1回	第20回	第21回	第1回		第22回		
C7. 30 C7. 70	C-H	制御用空気系統	A制御用空気ライン	0.98	0.74	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	気圧検査		
			B制御用空気ライン	0.98	0.74	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	気圧検査	
C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	低圧注水系統	恒設代替低圧注水ポンプ入口ライン	0	水張り	VT-2	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-			
			恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	2.1	2.1	VT-2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-		
			低圧注水ラインとのAMライン	4.5	4.5	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-		
			可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	1.55	1.55	VT-2	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	1.4	0.34	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	原子炉補機冷却水系統	C, D原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	1.4	0.34	VT-2	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-			
			原子炉補機冷却水サージタンク及びび出入ロライン	0.34	0.02	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-		
			原子炉補機冷却水サージタンク塞素供給ライン	0.34	0.34	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
			A, D格納容器再循環ユニット冷却ライン	1.4	1.4	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			A, D格納容器再循環ユニット冷却水放出ライン	1.4	1.4	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-		
			格納容器水素ガス試料冷却ライン	1.4	1.4	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-		
			A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	1.4	0.96	VT-2	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
C, D原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	1.4	0.96	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		SA標準使用圧力 (MPa) (工認証機器)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大阪発電所 第3号機 検査計画(10力年)										備考													
		検査の対象箇所 ライン名	系統名				2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第23回	2025年 第24回	2026年 第25回														
C7. 30 C7. 70	C-H	換気空調系統	Aアニュウラス空気浄化ファン出口ライン	0.0048	0.0048	VT-2	○											○	気圧検査											
							Bアニュウラス空気浄化ファン出口ライン																○	気圧検査						
							中央制御室空調設備入口ライン																		○					
							中央制御室空調設備出口ライン																			○				
							緊急時対策所指揮所ライン																				○	気圧検査		
							緊急時対策所待機所ライン																					○	気圧検査	
C7. 10 C7. 30 C7. 50 C7. 70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク出口ライン	0.98	0.11	VT-2																		一部気圧検査						
			A充てんポンプ出口ライン	20.0	18.0	VT-2																								
			B充てんポンプ出口ライン	20.0	18.0	VT-2																								
			C充てんポンプ出口ライン	20.0	17.36	VT-2																								
			B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ出口側)	20.0	18.0	VT-2																								
			B充てんポンプ自己冷却ライン (充てんポンプ入口側)	0.98	0.98	VT-2																								
			ほう酸ポンプ及び充てんポンプ連絡ライン	0.98	0.11	VT-2																								
			Aほう酸ポンプ入口ライン	1.4	水張り	VT-2																								
			Bほう酸ポンプ入口ライン	1.4	水張り	VT-2																								
			Aほう酸ポンプ出口ライン	1.4	0.87	VT-2																								
Bほう酸ポンプ出口ライン	1.4	0.87	VT-2																											

※1: 技術基準第58条第2項の記載の「他の方法」により外観点検を実施





重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(1/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B2. 111	B-B		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	全長の5%
			下部胴とトランジヨニングとの周溶接継手	体積	全長の5%
			トランジヨニングと下部鏡板との周溶接継手	体積	全長の5%
B3. 105	B-C		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	全長の100%
B3. 10	B-D		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%
			冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	全数の100%
B3. 20	B-D		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%
			冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	全数の100%
B5. 10	B-F		冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%
			冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面	全数の100%
B6. 10	B-G-1		ナット	VT-1	全数の100%
B6. 30	B-G-1		スタッドボルト	体積	全数の100%
B6. 40	B-G-1		胴フランジネジ穴のネジ部	体積	全数の100%
B6. 50	B-G-1		上蓋用ワッシャ	VT-1	全数の100%
B7. 10	B-G-2		T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト・ナット	VT-1	全数の25%
G1. 10	G-P-1		原子炉容器内部	VT-3	全範囲の7.5% 各検査時期毎
G1. 40	G-P-1		内部取付け物	VT-3	全範囲の7.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

備考

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器(2/2)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10万年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
G1. 40	G-P-1	上部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%
G1. 50	G-P-2			
		下部炉心支持構造物	VT-3	全範囲の 7.5%
B14. 10	B-O	制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部)	体積又は 表面	最外周 25%
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部)		
B15. 10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 検査時 100%
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	全数の 25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

## 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	継持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B2. 11	B-B		上部鏡板と上部胴との周継手	体積	全長の5%
			下部胴と下部鏡板との周継手	体積	全長の5%
B2. 12	B-B		上部胴の長手継手	体積	全長の10%
			中間胴の長手継手	体積	全長の10%
			下部胴の長手継手	体積	全長の10%
B2. 13	B-B		上部胴と中間胴との周継手	体積	全長の5%
			中間胴と下部胴との周継手	体積	全長の5%
B3. 30	B-D		安全弁用管台と容器との溶接継手	体積	全数の25%
			逃がし弁用管台と容器との溶接継手		
			スプレイ用管台と容器との溶接継手		
			サージ用管台と容器との溶接継手		
B3. 40	B-D		安全弁用管台内面の丸みの部分	体積	全数の25%
			逃がし弁用管台内面の丸みの部分		
			スプレイ用管台内面の丸みの部分		
			サージ用管台内面の丸みの部分		

クラス1機器供用期間中検査で管理

大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)

備考



重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	継持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
B5. 40	B-F		安全弁用管台とセーフエンドとの溶接継手		体積及び表面	全数の25%
			逃がし弁用管台とセーフエンドとの溶接継手			
			スプレイ用管台とセーフエンドとの溶接継手			
			サージ用管台とセーフエンドとの溶接継手			
B7. 20	B-G-2		マンホール取付ボルト	VT-1	全数の25%	
B8. 20	B-H		支持部材の容器への取付け溶接継手(スカート溶接継手)	表面又は体積	全長の7.5%	
B15. 20	B-P		圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	
F1. 41	F-A		支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	全数の25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理						
備考						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
B2. 40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	管板と水室鏡板との溶接継手		体積	代表1基 全長の 25%
B3. 60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分	冷却材入口管台の内面の丸みの部分		体積	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台の内面の丸みの部分	冷却材出口管台の内面の丸みの部分			
B5. 70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手		体積及び 表面	代表1基 全長の 25%
		冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手			
B7. 30	B-G-2	1次側マンホールボルト(入口側)	1次側マンホールボルト(入口側)		VT-1	代表1基 全長の 25%
		1次側マンホールボルト(出口側)	1次側マンホールボルト(出口側)			
B8. 30	B-H	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手	水室鏡とサポートパッドとの溶接継手		表面	代表1基 全長の 7.5%
B15. 30	B-P	圧力保持範囲	圧力保持範囲		VT-2	漏えい 検査時 100%
F1. 41	F-A	支持構造物	支持構造物		VT-3	代表1基 の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(1/3)

別紙-7(15/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
B9. 11	B-J	1次冷却材管		体積	全数の25%
		加圧器サージライン		体積	全数の25%
		加圧器安全弁ライン		体積	全数の25%
		加圧器逃がし弁ライン		体積	全数の25%
		余熱除去ポンプ入口ライン		体積	全数の25%
		SIS蓄圧注入ライン		体積	全数の25%
		SIS低温側低圧注入ライン		体積	全数の25%
		加圧器逃がし弁ライン		表面	全数の25%
		CVCS充てんライン		表面	全数の25%
		余熱除去ポンプ入口ライン		表面	全数の25%
B9. 21	B-J	SIS低温側高圧補助注入ライン		表面	全数の25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
B9. 31	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A以上)	1次冷却材管	体積	全数の25%	
B9. 32	B-J	母管と管台との溶接継手(呼び径100A未満)	1次冷却材管	表面	全数の25%	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の25%	
			SIS蓄圧注入ライン	表面	全数の25%	
			SIS低温側低圧注入ライン	表面	全数の25%	
B9. 40	B-J	ソケット溶接継手	SIS低温側高圧補助注入ライン	表面	全数の25%	
B10. 20	B-K	筒圧部分への支持部材の取付け溶接継手	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	全数の7.5%	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲		VT-2	漏えい検査時100%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(3/3)

別紙-7(17/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
F1. 10	F-A	加圧器サージライン	VT-3	全数の25%	
		加圧器逃がし弁ライン	VT-3	全数の25%	
		CVCS充てんライン	VT-3	全数の25%	
		支持構造物 余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	全数の25%	
		SIS蓄圧注入ライン	VT-3	全数の25%	
		SIS低温側低圧注入ライン	VT-3	全数の25%	
		SIS低温側高圧補助注入ライン	VT-3	全数の25%	
		クラス1機器供用期間中検査で管理			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B6. 180		主フランジボルト	体積	クラス1機器供用期間中検査で管理
B6. 190	B-G-1	主フランジ表面	VT-1	
B6. 200		主フランジナット・ワッシャ	VT-1	
B12. 20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	
B15. 60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	
F1. 41	F-A	支持構造物	VT-3	
			代表1台の 25%	
			代表1台の 25%	
			代表1台の 25%	
			代表1台の 100% 漏えい 検査時 100% 代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	検査範囲
B7. 70	B-G-2	加圧器安全弁ライン		VT-1	代表1台の25%
		加圧器逃がし弁ライン		VT-1	代表1台の25%
		CVCS充てんライン		VT-1	代表1台の25%
		余熱除去ポンプ吸入ライン		VT-1	代表1台の25%
		SIS蓄圧注入ライン		VT-1	代表1台の25%
		SIS低温側低圧注入ライン		VT-1	代表1台の25%
		加圧器安全弁ライン		VT-3	代表1台の100%
		余熱除去ポンプ吸入ライン		VT-3	代表1台の100%
		SIS蓄圧注入ライン		VT-3	代表1台の100%
		SIS低温側低圧注入ライン		VT-3	代表1台の100%
B12. 50	B-M-2	直径50mm以下の圧力保持用ホルト締付作部		VT-2	漏えい検査時100%
		呼び径100Aを超える弁箱			
B15. 70	B-P	圧力保持範囲		VT-2	漏えい検査時100%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 弁 (2/2)

別紙-7 (20/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン	代表1台の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		支持構造物 加圧器逃がし弁ライン	代表1台の25%	
			代表1台の25%	
		余熱除去ポンプ入口ライン	代表1台の25%	
				3V-RC-055
				3V-RC-056
				3V-RC-057
				3V-RC-054A・B
				3PCV-452A・B
				3PCV-420,3PCV-430
				3V-RH-002A・B



重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

別紙-7(21/32)

機器名		NRA文書(平成26.8.6 原規技発第1408063号)			大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
検査の対象箇所		検査方法	検査範囲	検査頻度	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理		
原子炉容器	原子炉容器底部の表面	—	—	100%/5年			
	計装用貫通部溶接継手	BMV	58箇所				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

別紙一7(22/32)

NRA文書(平成26.8.6 原規技発第1408063号)		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		検査範囲
-	-	配管	-	-	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理
		充てんライン(3B)	体積	25%	
		再生熱交換器連絡管	-	-	
		充てんライン連絡管(3B)	体積	25%	

# 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

1. 余熱除去冷却器

別紙-7(23/32)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
C1. 10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	管側鏡板と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%
C1. 20	C-A	管側入口管台と管側胴との溶接継手	管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積	代表1基 全長の 7.5%
C2. 21	C-B	管側入口管台と管側胴との溶接継手	管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び 表面	代表1基 全長の 7.5%
C4. 10	C-D	全ねじボルト		体積	代表1基 全長の 7.5%
クラス2機器供用期間中検査で管理					
備考					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

2. 配管(1/3)

別紙-7(24/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法
C3. 20	C-C	高圧注入ポンプ出口ライン	表面
		高圧注入ポンプ出口連絡ライン	表面
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面
		余熱除去冷却器出口ライン	表面
		SIS低温側低圧注入ライン	表面
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面
		充てんポンプ出口ライン	体積及び表面
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面
		余熱除去ポンプ出口ライン	体積又は表面
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面
C5. 11	C-F	SIS低温側低圧注入ライン	体積及び表面
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

2. 配管(2/3)

別紙-7(25/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		検査の対象箇所		検査範囲	備考
項目番号	カテゴリ	呼び径	検査方法	検査範囲	
C5. 11	C-F	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	格納容器再循環サブ出口ライン 燃料取替用水ピット出口ライン 余熱除去ポンプ入口ライン 燃料取替用水ピット出口ライン	全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5%	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)       クラス2機器供用期間中検査で管理
C5. 12	C-F	呼び径50A以上100A以下の管で公称厚さが5mmを超える溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン 高圧注入ポンプ出口連絡ライン SIS低温側高圧補助注入ライン SIS低温側高圧補助注入ライン	全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5% 全数の7.5%	
C5. 21	C-F	ソケット溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	全数の7.5%	
C5. 30	C-F	呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手	高圧注入ポンプ出口ライン	全数の7.5%	
C5. 41	C-F				



### 重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

#### 3. 充てんポンプ

別紙一7(27/32)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
C3. 30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面 全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
C4. 30	C-D	ケーシングボルト	体積 代表1台の7.5%	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面 代表1台の7.5%	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 代表1台の7.5%	

#### 4. 充てんポンプ(往復動式)

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 全数の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理

#### 5. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
C6. 10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面 代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1. 43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3 代表1台の7.5%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画(クラス2機器供用期間中検査範囲)

6. クラス2弁

別紙-7(28/32)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1. 43	F-A	支持構造物	余熱除去冷却器出入口ロライン	VT-3	代表1台 の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
			余熱除去冷却器出口ロライン	VT-3	代表1台 の7.5%	
			格納容器再循環サブ出口ロライン	VT-3	代表1台 の7.5%	







重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

別紙-7 (31/32)

3.重大事故等クラス2機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査圧力 (MPa)	検査方法	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考					
		検査の対象箇所	ライン名				2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機 冷却海水系統	A 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2																
			B 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2																
			C 海水ポンプライン	1.2	0.098	VT-2																
			A 海水ヘッドダ出口ライン	1.2	0.098	VT-2																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A, B 電動補助給水ポンプ入口ライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2																
			タービン動補助給水ポンプ入口ライン	0	水張り (静水頭圧)	VT-2																
			A 電動補助給水ポンプ出口ライン	13.1	9.4	VT-2																
			B 電動補助給水ポンプ出口ライン	13.1	9.4	VT-2																
C7.10	C-H	非常用ディーゼル発電機系統	タービン動補助給水ポンプ出口ライン	12.7	9.4	VT-2																
			A-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	3.2	2.501	VT-2																
			B-非常用ディーゼル発電機起動空気ライン	3.2	2.501	VT-2																

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画

検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	頻度	大阪発電所 第3号機 検査計画(10年)										備考		
				2017年 第16回	2018年 第一回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第一回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第一回	2026年 第22回			
コンクリート部	目視検査	PCCV着面運送部位 検査テンドン定着部周辺	PCCV-ISIの 頻度による	● ※			○					○				
ライナプレート部	目視検査	ライナプレート表面運送部位	PCCV-ISIの 頻度による	● ※			○					○				
緊張材定着部	目視検査	検査テンドンの緊張材定着部表面	PCCV-ISIの 頻度による	● ※			○					○				
テンドン	緊張力確認検査	フープテンドン 4本 逆Uテンドン 3本	PCCV-ISIの 頻度による	● ※			○					○				
防錆材	防錆材検査	検査テンドンの端部から採取	PCCV-ISIの 頻度による	● ※			○					○				

※平成27年度実施のプレレストコンクリート格納容器供用期間中検査自主検査の記録確認

# 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(1/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考								
					2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回									
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	電源車内燃機関、冷却水ポンプ (電源車)	-	VT-2																			
		電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	-	VT-2																			
		電源車(緊急時対策所用)内燃機関、冷却水ポンプ (電源車(緊急時対策所用)(3、4号機共用))	-	VT-2																			
		燃料タンク (電源車)	大気圧	VT-2																			
		燃料タンク (電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用))	大気圧	VT-2																			
		燃料タンク (電源車(緊急時対策所用)(3、4号機共用))	大気圧	VT-2																			

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考					
					2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)	0.90以上	VT-2				○												
		可搬式空気圧縮機用空気ため	1.05	VT-2				○												
		増圧装置空気ため	1.0	VT-2				○												
		窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)	14.7	VT-2																○
		窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)~ホース先端	0.98 17.16	VT-2																○
		代替制御用空気ライン窒素供給用ホース 20m、16m、10mホース	0.98	VT-2					○											
		窒素ラインマニホールド連結用0.68mホース	17.16	VT-2																○
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用2mホース	0.98	VT-2					○											
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用1.5mホース	0.98	VT-2					○											
		可搬式空気圧縮機ラインマニホールド接続用5mホース	0.98	VT-2					○											
代替制御用空気供給ライン安全弁(3V-1A-765A、B)	吹出圧力 0.98	VT-2																	○	

※:技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)



# 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

重大事故等クラス3機器漏えい検査

別紙-8(4/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMIE S NA1-2008 準拠 検査の対象箇所 設備名	SA時最高使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法 ※	大阪発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考				
					2017年 第16回	2018年 第1回	2019年 第17回	2020年 第18回	2021年 第19回	2022年 第1回	2023年 第20回	2024年 第21回	2025年 第1回	2026年 第22回					
C7. 30 C7. 50	C-H	送水車(3台)	1.6	VT-2				○											
		大容量ポンプ(放水砲用)(3・4号機共用)(3台)	1.2	VT-2								○							
		送水車吸水用ホース(28本)	0.4	VT-2				○											
		送水車送水用ホース(149本)	1.6	VT-2				○											
		大容量ポンプ入口ライン放水砲用ホース(3・4号機共用)(5本)	0.25	VT-2									○						
C7. 10 C7. 50	C-H	大容量ポンプ出口ライン放水砲用ホース(3・4号機共用)(29本)	1.2	VT-2								○							
		放水砲(3・4号機共用)(3台)	1.2	VT-2									○						
		送水車燃料タンク(3基)	大気圧	VT-2										○					
		大容量ポンプ燃料タンク(3・4号機共用)(6基)	大気圧	VT-2												○			
		大容量ポンプ(放水砲用)燃料タンク(3・4号機共用)(6基)	大気圧	VT-2													○		
		軽油ドラム缶(3・4号機共用)(106個)	大気圧	VT-2												○			

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)







# 重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画

別紙-8(7/7)

重大事故等クラス3機器漏えい検査

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2008		検査方法※	大飯発電所 第3号機 検査計画(10カ年)												備考			
		検査の対象箇所	設備名		2017年 第16回	2018年 第17回	2019年 第18回	2020年 第19回	2021年 第20回	2022年 第21回	2023年 第22回	2024年 第23回	2025年 第24回	2026年 第25回						
C7. 10 C7. 30 C7. 50	C-H	空気供給装置(3・4号機共用)	(空気ポンプ:600本予備1本)	14.7	VT-2															
		空気供給装置~マニホールド端(ポンベ側)(3・4号機共用)	(150台+予備1台)	14.7	VT-2															
		空気供給ライン高圧用ホース(3・4号機共用)	(150本+予備1本)	14.7	VT-2															
		マニホールド端(高圧ホース側)~マニホールド端(低圧ホース側)	(3・4号機共用) (24台+予備1台)	14.7	VT-2															
		マニホールド(5口、4口、2口)	(3・4号機共用) (11台+予備3台)	0.78	VT-2															
		空気供給装置ライン低圧用ホース	(3・4号機共用) (75本+予備5本)	0.78	VT-2															
		流量調整ユニット	(3・4号機共用) (4台+予備1台)	0.78	VT-2															

※: 技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施するものと試験免除となるものを識別する必要がある(今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示にて美浜、高浜との統一が必要)

## 保全に関する実施体制

## 保全に関する実施体制

### 1. 大飯発電所の保守管理体制

大飯発電所第3号機の第17保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

